令 和 ３ 年 度

# 事　業　報　告　書

公益財団法人　静岡県産業振興財団

目　　次

概　　要 …… 1

公１　産業創出支援 …… 4
　１　創業環境向上支援事業…… 4
　２　大学等の研究シーズと県内企業のマッチング促進事業…… 5
　３　地域創生起業支援事業…… 6
　４　創業資金等支援事業…… 6
　５　新成長産業戦略的育成事業…… 6
　６　先端企業育成プロジェクト事業化推進事業…… 9
　７　ＥＶ・自動運転化等技術革新対応促進事業…… 9
　８　静岡型航空産業育成事業…… 10
　９　医療機器産業基盤強化推進事業…… 11

公２　経営基盤強化 …… 11
　１　中小企業支援センター事業…… 11
　２　下請振興等事業…… 13
　３　静岡ものづくり生産性向上推進人材育成事業…… 15
　４　中小企業ＩｏＴ活用促進事業 …… 16
　５　産業成長戦略推進事業 …… 21
　６　事業承継支援事業…… 23
　７　高度化資金貸付診断等事業…… 23
　８　経営革新計画支援事業…… 24
　９　設備貸与事業…… 25
　10　中小企業振興貸与事業…… 25
　11　設備資金貸付事業…… 26

公３　科学技術研究開発支援…… 26
　１　産学官技術交流促進事業…… 26
　２　地域ビジネス応援事業…… 28
　３　戦略的基盤技術高度化支援事業…… 29

公４　フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト…… 30
　１　フーズ・ヘルスケアプロジェクト推進事業…… 30
　２　高付加価値型食品等開発推進事業…… 32
　３　産業人材育成事業…… 33
　４　健康食イノベーション推進事業…… 33

# 令和３年度　事業報告

自　令和 ３年 ４月 １日
至　令和 ４年 ３月 31 日

＜概要＞

令和３年度の本県経済を概観すると、コロナの感染拡大が企業活動や個人消費の動向に深刻な影響を与えているものの、世界経済の急速な改善や、国による経済対策の効果等を背景に年度後半からは全体的には緩やかな回復局面となった。一方で、コロナ禍を機とする世界規模での半導体等の供給不足や、ロシアのクライナ侵攻の影響による燃料や原材料の高騰など、新たな不安定要因を抱えることとなった。

業種別に見ると、本県の基幹産業である輸送用機械器具製造業では、部品調達に不安要素はあるものの、海外需要の回復に伴って堅調な動きを示したが、観光や飲食業など一部の産業では依然として厳しい経営環境に置かれるなど、K字型経済が構造化し、好調な企業とそうでない企業の差が拡大した。

これらの状況を踏まえて、県では、ＥＶ化やＤＸの進展、気候変動問題への対応など、直面する産業構造の大転換期に的確に対応するため、引き続き、本県経済をけん引する新産業の育成や中小企業の成長支援に取り組むとともに、コロナ禍で過大な債務を抱えた中小企業の事業継続を支援するため、事業再構築や事業再生等を通じて、稼ぐ力を取り戻す本業支援に重点的に取り組んだ。

こうした中、当財団も県と歩調を合わせ、新産業の創出や、成長分野への中小企業の参入促進、さらに中小企業の経営基盤強化を図るため、県との緊密な連携と役割分担のもと、多岐にわたる事業を展開した。

まず、新産業の創出を図るため、創業者の育成支援や成長分野への県内企業の参入促進に取り組んだ。新たな取組として、国内経済で存在感を増しつつある大学発ベンチャーを県内から創出するため、コーディネーターが県内大学の研究シーズを発掘して、県内企業との共同創業や共同開発に結び付けるマッチング活動を進めた。

成長分野への参入支援としては、令和２年度に引き続き、ＥＶ化・自動運転や医療機器等に関する製品開発に取り組む企業への助成事業を行った。このうち、ヘルスケア分野を主導する「フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト」では、当財団がプラットフォームとなって企業の新規参入を支援した。

このほか、企業支援に係るＤＸ化の一環として、県内企業を対象に国県の支援制度の一元的な提供や、企業同士の相談や協業、支援機関との相談などをオンライン上で進めるコミュニティサイト「しずおか産業創造プラットフォーム」の運営を開始した。

次に中小企業の経営基盤強化を支援するため、きめ細かな事業を展開した。

特に、コロナ禍で疲弊した中小企業による新たな取組や新業種への挑戦を後押しするため、これらへの助言を行う専門家派遣制度について、令和２年度に引き続き、例年を大幅に上回る延べ 421 社に対して専門家を派遣したほか、下請企業向けの販路開拓支援として、下請受注機会の確保、展示会等への出展を支援した。

また、中小企業の成長を支援する国のメニューである、経営革新計画や地域経済牽引事業計画の策定支援や、その実現に向けたサポートを行った。このほか、中小製造業等の生産性向上につながるＩｏＴの導入支援や、現場の製造工程の改善を担うリーダーの養成を行う人材育成事業を行うなど、中小企業の経営基盤の強化に資する様々な事業を実施した。

以上、コロナの感染に伴って、見直しや縮小せざるを得なかった事業もあったが、概ね事業計画どおり実施することができた。

＜　決算総括　＞

令和３年度の経常収益は、公益目的事業及び法人会計合わせて 1,226,228 千円となり、前年度の 1,306,077 千円に対して 79,849 千円の減少となった。

経常費用は、1,241,080 千円で前年度の 1,327,772 千円に対して 86,692 千円の減少であった。

令和３年度の収益・費用の増減要因としては、収益では、事業承継支援事業（プッシュ型事業承継支援高度化事業）に関連する業務が全面的に他機関に移管されたこと、戦略的基盤技術高度化支援事業の３案件の管理が最終年度を迎えたこと等により収益全体としては前年度に比較してマイナスとなった。費用においても戦略的基盤技術高度化支援事業、事業承継支援事業（プッシュ型事業承継支援高度化事業）に伴う経費支出などが減額となった。

これらのことから、当期経常増減額は、マイナス 14,851 千円と、前年度に比べて 6,843 千円のプラスとなった。

当期経常外増減額は、プラス 4,340 千円と、前年度に比べて 675 千円減少した。

このため、当期経常増減額と当期経常外増減額を合わせた当期一般正味財産増減額は、マイナス 10,512 千円と、前年度のマイナス 16,679 千円に比べて 6,167 千円の改善となった。

# 令和３年度事業一覧（決算額）

Ⅰ 公益事業　1,219,142　　単位：千円

- 公１　産業創出支援　629,621
  - 創業支援
    - 1 創業環境向上支援事業　11,978
    - 2 大学等の研究シーズと県内企業のマッチング促進事業　8,667
  - 創業資金支援
    - 3 地域創生起業支援事業　73,354
    - 4 創業資金等支援事業　3,324
  - 新分野開拓
    - 5 新成長産業戦略的育成事業　150,315
    - 6 先端企業育成プロジェクト事業化推進事業　20,058
    - 7 ＥＶ・自動運転化等技術革新対応促進事業　113,733
    - 8 静岡型航空産業育成事業　37,589
    - 9 医療機器産業基盤強化推進事業　202,239
  - 共通　8,364
- 公２　経営基盤強化　283,111
  - 経営支援
    - 1 中小企業支援センター事業　99,404
    - 2 下請振興等事業　63,614
    - 3 静岡ものづくり生産性向上推進人材育成事業　9,204
    - 4 中小企業ＩｏＴ活用促進事業　22,348
    - 5 産業成長戦略推進事業　6,401
    - 6 事業承継支援事業　413
  - 経営等診断
    - 7 高度化資金貸付診断等事業　18,589
    - 8 経営革新計画支援事業　25,916
  - 設備支援
    - 9 設備貸与事業　18,432
    - 10 中小企業振興貸与事業　△ 159
    - 11 設備資金貸付事業　3,472
  - 共通　15,477
- 公３　科学技術研究開発支援　116,109
  - 1 産学官技術交流促進事業　30,759
  - 2 地域ビジネス応援事業　12,582
  - 3 戦略的基盤技術高度化支援事業　70,465
  - 共通　2,303
- 公４　フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト　175,602
  - 1 フーズ・ヘルスケアプロジェクト推進事業　87,857
  - 2 高付加価値型食品等開発推進事業　9,436
  - 3 産業人材育成事業　2,116
  - 4 健康食イノベーション推進事業　66,783
  - 共通　9,410
- 公益目的共通　14,699

＊各事業に配賦することが困難な費用は、公益目的事業に関する会計の中で「共通」の会計区分を設けて管理。

# Ⅰ　公益目的事業

（　　）内は前年度正味財産増減計算書額

**事業費 1,219,142 千円（1,302,210 千円）**

## 公１　産業創出支援

**事業費　629,621 千円（623,141 千円）**

創業者、ベンチャー企業、新事業に挑戦する企業等の多様な経営課題に対する相談・指導、新事業の展開へ向けた資金調達の支援、販路開拓の支援、新分野開拓への支援等、新たな産業創出を支援する事業を行った。

**○創業支援、創業資金支援**
- 創業者の立ち上げ支援と、現場で創業をサポートする市町担当者向け研修会等
- 県内大学発ベンチャー創業支援
- 地域の社会的課題をビジネスの手法で解決する起業を支援（助成金交付）

**○新分野開拓（成長分野への県内企業の参入支援）**
- 県が位置付ける成長分野（新エネルギー、次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境）への参入に挑戦する企業の育成と一環支援

### １　創業環境向上支援事業

事業費 11,977,969 円

創業者の持続的発展を支援するため、事業計画の磨き上げや経営課題等への助言を行う講習会等を開催した。また、創業支援ノウハウ等の少ない県内市町をサポートし、県内の創業環境の向上を図るため、支担当職員向けの研修会や、県内各市町が実施する創業セミナーや創業相談会等の支援を行った。

**（1）創業者成長支援事業**

＜創業スキルアップサロン＞

| 開催日 | 開催場所 | 講習会 | メンターサロン |
|---|---|---|---|
| R3. 9.10（AM） | オンライン | テーマ：コロナ禍でも業績を伸ばしているニッチな企業とは!!<br>講　師：創業手帳㈱　代表取締役　大久保幸世 氏<br>参加者：4名 | 創業手帳㈱<br>代表取締役　大久保幸世 氏<br>参加者：4名 |
| | | ■参加者評価　満足度：4.5点（5点満点） | |
| R3. 9.10（PM） | オンライン | テーマ：多様な資金調達（クラウドファンディング等）を活用しよう!!<br>講　師：創業手帳㈱　代表取締役　大久保幸世 氏<br>参加者：6名 | 創業手帳㈱<br>代表取締役　大久保幸世 氏<br>参加者：6名 |
| | | ■参加者評価　満足度：4.2点（5点満点） | |
| R3.10. 4 | オンライン | テーマ：コロナ禍を生き抜く!! 倒産しない為の資金繰りについて<br>講　師：ヒロパートナーズオフィス　代表　五島宏明 氏<br>参加者：4名 | ヒロパートナーズオフィス<br>代表　五島宏明 氏<br>参加者：4名 |
| | | ■参加者評価　満足度：4.5点（5点満点） | |
| R3.11. 2 | 静岡市 | テーマ：創業者のための顧客獲得実践講座～売上アップに向けた次の一手<br>講　師：㈱ハーモニーリンク　代表取締役　馬込正 氏<br>参加者：7名 | ㈱ハーモニーリンク<br>代表取締役　馬込正 氏<br>参加者：7名 |
| | | ■参加者評価　満足度：4.8点（5点満点） | |

**（2）市町等支援事業**

＜創業支援担当者研修＞

| 開催日 | 開催場所 | テーマ | 講師 | 参加者 |
|---|---|---|---|---|
| R3. 6. 3 | 静岡市 | 創業相談対応のいろは | 静岡県よろず支援拠点<br>コーディネーター　竹島寿夫 氏 | 27名 |
| | | ■参加者評価　満足度：4.7点（5点満点） | | |
| R3. 7.20 | 静岡市<br>（ハイブリッド） | オンライン会議ツールを使いこなして、創業塾や創業相談をやってみよう！ | ふじのくにＩＣＴ人材育成プロデューサー　阪口瀬理奈 氏 | 24名<br>・会場：17名<br>・ZOOM：7名 |
| | | ■参加者評価　満足度：4.0点（5点満点） | | |
| R3. 9.21 | オンライン | 事例から学ぶ実践的飲食店経営のい | 株式会社ツーリズムデザイナーズ | 22名 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | ろは | 代表取締役　田尾大介 氏 | |
| | | ■参加者評価　満足度：4.7 点（5 点満点） | | |
| R3.11.11 | 静岡市<br>（ハイブリッド） | BEYOND コロナ時代に創業して、失敗しないポイント<br>～商売の基本＋イノベーション＋デジタル活用で時代を乗り切る～ | 株式会社サイバーアシスト<br>代表取締役社長　吉村正裕 氏 | 19 名<br>・会場：15 名<br>・ZOOM：　4 名 |
| | | ■参加者評価　満足度：4.8 点（5 点満点） | | |

＜創業支援機関ネットワーク会議＞

| 開催日 | 開催場所 | 内容 | 参加者 |
|---|---|---|---|
| R4.　3.24 | 静岡市<br>（オンライン） | (1)経済産業省関連予算案等の概要について<br>関東経済産業局地域経済部産業技術革新課　係員　湯澤進 氏<br>(2)静岡県の創業支援<br>静岡県経済産業部商工業局商工振興課　主事　塚口佑太 氏<br>(3)ふじのくに移住・就業支援事業<br>静岡県くらし・環境部企画政策課　主査　堀切川貴代 氏<br>(4)創業支援事業紹介<br>浜松いわた信用金庫　ソリューション支援部<br>新産業創造室　調査役代理　上野直人 氏<br>(5)創業事例紹介（令和３年度地域創生起業支援採択者）<br>negura campground　代表　渡部竜矢 氏 | 56 機関<br>74 名 |

＜市町個別支援＞

| 相談内容 | 件数 |
|---|---|
| 情報提供・情報交換等 | 48 件 |
| 具体的支援（講師派遣、個別相談対応等） | 7 件 |
| 市町等の創業支援事業に対する助言（講師紹介等） | 3 件 |
| 会議等 | 4 件 |
| 計 | 62 件 |

**（3）創業施策情報提供事業**

一元的な情報発信によるワンストップサービスを提供するため、支援施策情報等をホームページ、メールマガジンで配信した。

○ 財団専用ホームページによる情報発信（アクセス数）　75,412 回
○ メールマガジン配信　　25 回　延べ 56,864 件（2,274 件/回）

## ２　大学等の研究シーズと県内企業のマッチング促進事業

事業費 8,666,572 円

次世代の経済成長を牽引する大学発ベンチャーの継続的な創出を促進するため、コーディネーター２名が、県内理系大学の高度な技術・研究シーズや県内企業のニーズを発掘し、大学の研究と県内企業を結びつけるラウンドテーブルや個別マッチングを行った。

**（1）ラウンドテーブルの開催**

| 開催日 | 開催場所 | 内　　容 | 参加者 |
|---|---|---|---|
| R3.10.　7 | 浜松市 | テーマ：物質の表面・界面の改質による高機能化<br>講　師：静岡大学工学部　電子物質科学科　教授　下村勝 氏 | 9 社<br>10 名 |
| R3.10.25 | 沼津市 | テーマ：有機性廃棄物および未利用炭化水素資源の熱化学処理によるエネルギー転換<br>講　師：沼津工業高等専門学校　物質工学科　准教授　伊藤拓哉 氏 | 8 社<br>9 名 |
| R4.　2.10 | 浜松市 | テーマ：能動回転式ミスト回収装置<br>講　師：静岡大学工学部　化学バイオ工学科　教授　木村元彦 氏<br>テーマ：ＡＩによる機械の正常・異常判定<br>講　師：静岡大学工学部　電気電子工学科　教授　犬塚博 氏 | 8 社<br>11 名 |
| R4.　3.　2 | 袋井市 | テーマ：メカトロ技術を応用し日々の生活・移動を心地よくする<br>講　師：静岡理工科大学理工学部 電気電子工科　教授　美馬一博　氏 | 8 社<br>11 名 |

（2）個別マッチング

| マッチング件数 | 成果 | | |
|---|---|---|---|
| | ① 成立 | ② 不成立 | ③ 折衝中 |
| 17 件 | 2 件（※1） | 5 件 | 10 件 |

※1　学術指導契約締結

## 3　地域創生起業支援事業

事業費 73,353,606 円

地域の社会的課題をビジネスの手法で解決する起業を支援するため、創業事業費に要する経費の一部を補助すると共に起業者への伴走支援を行った。

（1）起業支援金交付

（金額単位：千円）

| | ①交付申請 | | | ②交付決定 | | | ③交付確定 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 募集期間 | 件数 | 金額 | 決定日 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 交付 |
| 一次募集 | R3.5.1 ～ 6.10 | 55 | 90,284 | R3.7. 9 | 27 | 46,418 | 25 | 35,897 | R4.2.21 |
| 二次募集 | R3.7.1 ～ 7.31 | 35 | 62,523 | R3.9. 6 | 15 | 27,197 | 12 | 20,717 | ～ 3.7 |
| 合計 | | 90 | 152,807 | | 42 | 73,615 | 37 | 56,614 | |

【R３起業者の成果】

| 件数 | 売上高(開業日～令和３年12月末) | 従業員数(令和３年12月末現在) |
|---|---|---|
| 37 件 | 42,538 千円 | 65 人 |

（2）ステップアップセミナーの開催

| 開催日 | 開催場所 | 内　　容 | 参加者 | 参加者評価 |
|---|---|---|---|---|
| R3. 7. 8 | 静岡市 | テーマ：創業者向け経理基礎セミナー<br>講　師：税理士　白鳥久美子 氏 | 27 名 | 満足度：4.5 点<br>(5 点満点) |
| R3. 9. 3 | 静岡市<br>(オンライン) | テーマ：知って得する!! 創業のイロハ<br>講　師：中小企業診断士　竹島寿夫 氏 | 19 名 | 満足度：4.3 点<br>(5 点満点) |

（3）伴走支援

交付決定した起業者に中小企業診断士を派遣し、事業計画の相談対応や販路開拓等の経営支援を行った。

・実施回数　74 回

（4）過年度採択者の令和２年度実績（成果報告）

| 採択年度 | 件数 | 売上高（R2.4.1 ～ R3.3.31） | 従業員数（R3.3.31 現在） |
|---|---|---|---|
| 令和元年度 | 24 件 | 合計:331,830 千円 | 合計:39 人 |

## 4　創業資金等支援事業

事業費　3,323,940 円

（1）創造的中小企業創出支援事業（間接投資）

創造的中小企業が発行する社債の債務保証業務について、代位弁済先に対し、担当ベンチャーキャピタルと共同で償還金請求訴訟を提起し、和解により連帯保証人から回収を行った。なお、令和３年度で本事業は完了した。

## 5　新成長産業戦略的育成事業

事業費 150,315,223 円

今後の成長が期待される産業分野(新エネルギー、次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境)への、新たな成長産業分野への参入を目指す中小企業に対し、技術相談から研究開発、事業化･販路開拓まで一貫した支援に取り組んだ。

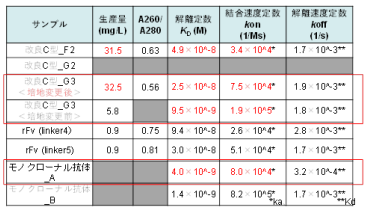
（1）新成長産業助成事業

新エネルギー、次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境などの新たな事業分野へ県内中小企業が参入することを支援するため、研究開発、事業化推進への活動に対して助成した。

①　産学官連携研究開発助成

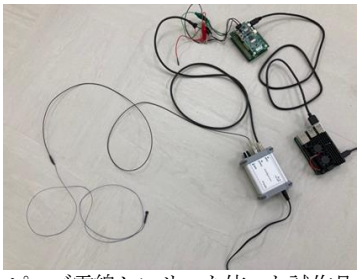
成長分野をはじめ幅広く、産業応用・展開の可能性を有する新技術・新製品等の実用化を目的とした研究開

発を大学・県内公設試験研究機関と連携して行う取組みに対して助成した。

| 事業名･実績 | 助成例(抜粋) |
|---|---|
| 産学官連携研究開発助成<br>助成件数 4件<br>(中小企業 4件)<br>確定金額 25,540千円 | 超高感度な感染症用検出システムの改良開発<br>本研究は、結核菌を標的に高感度で迅速簡便な結核診断システム（結核菌検出キット）の開発が最終目的である。本取組により、結核菌が分泌する微量なタンパク質である抗原を標的に、抗体の親和性能を示す指標である解離定数（KD）が10の−8乗オーダーの目的組換え抗体の作製ができた。また、完全な人工設計から合成によるアルカリホスファターゼの作製に成功し、その性能は一般的に知られている中で最高性能クラスの酵素と同等の性能を示すことを確認した。<br>  <br>各種抗体の反応速度論的解析 |

②中小企業研究開発助成

成長分野をはじめ幅広く、産業応用・展開の可能性を有する新技術・新製品等の実用化を目的とした研究開発を行う中小企業の取組みに対して助成した。

| 事業名･実績 | 助成例(抜粋) |
|---|---|
| 中小企業研究開発助成<br>助成件数 3件<br>(中小企業 3件)<br>確定金額 7,336千円 | 転倒データを怪我せずに収集できる床材の研究開発<br>高齢者等が転倒時に介護者等、第三者にリアルタイムで知らせることを可能にするセンサーシステムを装備した衝撃吸収床材を開発した。検証の結果、100Hz未満のデータで、「歩行」、「転倒」、「ものの落下」を区別できる可能性が示された。また、遠隔地で収集できるシステムの構築：AWS等のクラウドを試用成功した。今後、実際の患者のデータを計測するための検証に向け、倫理委員会の承認を得ることとしている。<br>  <br>ピエゾ電線センサーを使った試作品 |

③事業化推進助成

中小企業が、成長分野に関する研究成果を活用した新製品・技術の開発及び事業化のための取組みに対して助成した。

| 事業名･実績 | 助成例(抜粋) |
|---|---|
| 事業化推進助成<br>助成件数 8件<br>(中小企業 8件)<br>確定金額 69,755千円 | トマトの気孔モニタリング装置の製品化<br>本補助事業では、気孔モニタリング装置を開発した。作物の収量を決定づける葉の光合成活性に着目した。気孔は葉の表面にある小さな孔（あな）であり、ガス交換の役割を担う。葉の光合成は、二酸化炭素の取り込み量に依存し、さらには気孔の開き具合（開度）に制御される。栽培現場で気孔開度をリアルタイムに測定し、各個体がどの程度光合成を行っているか推定することで、栽培技術の高度化への寄与が期待される。令和4年4月より試作品発注を実施し、同年8月以降で展示会やSNS等を通じて製品のPRや試作品の貸与を実施する。試作品モニター終了後の2023年4月より正式販売を実施する予定である。<br> <br>独立型カメラデバイスとスマートフォン接続による計測 |

＜これまでの成果＞

| 助成金名 | 助成件数<br>(累計) | 調査時期<br>(R3.4) | 商品化件数 | 販売実績のある企業数 | 販売金額 | 知財等<br>取得件数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 新成長産業<br>研究開発助成金<br>(H25～) | 138社 | 62社<br>(H31年度<br>助成まで) | 22社 | 22社 | 3,667,389千円 | 22件<br>(出願件数) |

④航空機産業認証取得助成

航空機産業参入条件になっている品質マネジメントシステム規格「JIS Q 9100」や国際特殊工程認証システム「Nadcap」の認証取得にかかる経費を助成した。(原則、2年計画)

| 区分 | H28 | H29 | H30 | R元 | R2 | R3 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 認証取得件数 | 3 | 2 | 0 | 2 | 1 | 2 |
| 指定件数 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 |

**（2）新成長産業支援事業**

新エネルギー、次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境などの新たな事業分野へ、県内中小企業が参入することを支援するため、ビジネスマッチング、啓蒙･啓発、人材育成、販路開拓、調査･研究、試作･実証試験への助成などの事業を行った。

| 分野 | |
|---|---|
| 次世代自動車 | ＜展示会出展＞<br>第19回学生フォーミュラ日本大会2021への支援<br>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、主催者により開催中止とされたため中止した<br>（但し、静的検査のみ実施） |
| 医療･福祉機器 | ＜セミナーの開催等＞<br>医工連携スタートアップ支援事業（委託）（採択件数5社）<br> <br>＜展示会出展＞<br>医工連携出会いのサロン（委託）<br>第34回日本内視鏡学会総会に併設される展示会に出展<br>（R3.12.2～4、神戸国際展示場、出展5社）<br> <br>＜マッチング＞<br>メドテックジャパン2021への出展支援<br>(R3.4.14～16、東京ビッグサイト、出展9社・2団体 |
| ロボット | ＜セミナーの開催等＞<br>ロボット活用による先進ものづくり人材の育成(委託)<br>開催日：R3.7.10～R4.1.29（全5回）<br>場所：沼津市　受講者数：49名<br><br>ロボット産業参入のためのセミナー事業<br>開催日：R3.11.8～14<br>開催方法：YouTubeによるWeb配信　受講者数：125名（再生回数205回）<br><br>＜マッチング＞<br>ロボットメーカーとのビジネスマッチング支援事業<br>「ビジネスマッチングinデンソーウェーブ」<br>開催期間：R3.11.18～12.10<br>開催方法：インターネット通信によるリモート面談　面談件数：9件（8社）　商談件数：3件 |

| | |
|---|---|
| 航空宇宙 | ＜セミナーの開催等＞<br>航空宇宙中核人材育成事業（委託）<br>西部会場：R3.11.　2～12.15<br>東部会場：R3.11.12～12.22<br>講義：インターネット通信によるリモート方式（R3.11.25・26）<br>実習：ポリテクカレッジ浜松　受講者数　10名<br> <br>＜展示会出展＞<br>航空宇宙開発展への出展支援（委託）<br>（R3.2.3～5、幕張メッセ、出展申込5社）<br>（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出展を中止した）<br><br>＜マッチング＞<br>専門家(重工ＯＢ)によるマッチング支援（委託）<br>静岡県内企業、重工メーカー訪問によるマッチング支援<br>・訪問件数：　91件　・見積件数：635件　・売上：695百万円 |
| 環境 | ＜マッチング＞<br>静岡県・浙江省環境プラットフォーム事業（委託）<br>環境協力推進会議（R3.12.16（WEB会議）） |

## ６　先端企業育成プロジェクト事業化推進事業

事業費 20,058,140 円

国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）と共同で行った先端企業育成プロジェクト推進事業(県補助金)終了分野の研究開発成果を活用し、事業化につなげるために、研究開発を行う県内企業に対して助成した。

**(1)助成事業**

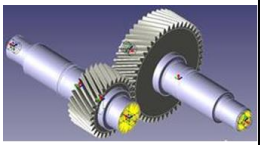
| 事業名･実績 | 助成例(抜粋) | |
|---|---|---|
| 先端企業育成プロジェクト事業化推進助成<br><br>助成件数 1件<br>（中小企業 1件）<br>確定金額 20,000千円 | 患者に優しい採血等を実現する穿刺支援装置の開発<br>血管を確実に怒張させ穿刺を容易にするために、腕帯に最適な駆血圧に加え、駆血位置を移動させることでさらなる怒張を促す電子駆血装置を開発した。この装置により穿刺の失敗を低減し、患者の痛みを軽減すると共に、穿刺者の穿刺失敗のストレスを軽減させる事が可能となった。令和4年度2月末に実用化を見込んでいる。 | <br>超音波エコーを用いた腕帯比較研究 |

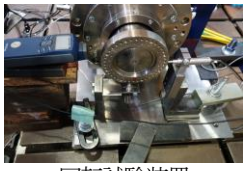
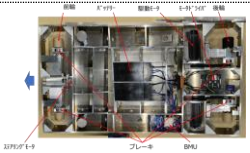
## ７　EV・自動運転化等技術革新対応促進事業

事業費 113,732,617 円

ＥＶ（電気自動車）化、自動運転化などに対応するため、産業界や関係機関と連携しながら、地域企業の技術者養成や研究開発・事業化支援や、コーディネーターによる販路開拓支援を推進した。

**（1）助成事業**

| 事業名･実績 | 助成例(抜粋) | |
|---|---|---|
| 産学官連携型<br>助成件数 2件<br>（中小企業 1社<br>中堅企業 1社）<br>確定金額 20,000千円 | ２モーター選択制御式変速機構を用いた超低電費車両用変速システムの開発<br>電気自動車における諸課題（車両販売価格、モーター消費電力量、走行時電気代、航続可能距離、充電時間、車両重量など）の解決を目的として、静岡理工科大学と連携して、①低歪熱処理ギヤ、②低騒音ギヤ、③最適モード切替制御、④ローラーかしめ加工、⑤アシンメトリーギヤ、⑥超高速運転対応、⑦モーター軸廉価化の開発に取り組んだ。従来型の単体 |  <br>試作歯車形状イメー |

| | | |
|---|---|---|
| | モーター式電動車に比べて、約10%の走行電費改善効果を見越して開発を進め、各課題を解決することで減速機の実用化を図り、‘25年の市場販売を目指す。 | ジ（３Ｄモデル） |
| 一般型<br>助成件数 2件<br>（中小企業 2社）<br>確定金額 8,795千円 | HV/EV車用 大電流用接続端子と溶接に変わる新接続工法の開発<br>ハイブリッド車・電気自動車などの電動車はエンジン車に比べパワートレインの高速回転化、低振動化及び低騒音化が進んでおり、これに伴い、自動車用試験機も高速回転化、低振動化及び低騒音化に対応できる機能が求められている。低振動・低騒音化も視野に入れた高速回転できるエアー軸受の開発を行った。令和４年度に展示会への出展等を実施する。 |  <br>回転試験装置 |
| 事業化型<br>助成件数 4件<br>（中小企業 4社）<br>確定金額 56,306千円 | 自動車ターゲット移動装置（大型ＵＦＯ）の開発<br>自動車対自動車の衝突安全テストが高度化しており、それに対応するテスト装置の方式も変化している。このテストにおいて車の形状をした模型（ターゲットと呼ぶ）の移動に用いる自動車ターゲット移動装置（略称大型ＵＦＯ）を開発した。大型ＵＦＯ・自動車テストターゲットの受注は令和５年４月を予定。大型ＵＦＯの販売目標（発売2年目以降）：50百万円×10台／年 |  <br>大型ＵＦＯ試作機 |
| 試作品開発助成<br>助成件数　6件<br>（中小企業　6社）<br>確定金額 9,508千円 | 次世代自動車PCU用高精度アルミダイカスト部品の試作<br>DCDCコンバーターは複雑な形状をしているため、今後の次世代自動車への対応に向け、可能な限り早い段階で金型及び試作品を製作して客先が要求する水準を満たす技術力を公開し、アピールしていく必要がある。そこで先行企業が量産できない水準の複雑形状のものを製作可能であることをアピールし、受注に結び付けることを視野に試作品を開発した。５月以降に大手自動車メーカーに対して営業活動を開始する。 | <br>DCDCコンバーター試作品 |

**（2）支援事業**

| 分野 | セミナーの開催等 | 展示会への出展 | マッチング |
|---|---|---|---|
| 次世代<br>自動車 | 次世代自動車中核人材育成講座<br>①最新動向セミナー<br>開催日：令和3年10月27日～11月2日<br>開催方法：YouTubeによるWeb配信<br>受講者数：139名（再生回数248回）<br>②中小自動車部品製造業のためのDX基礎セミナー<br>開催日：令和3年11月26日<br>開催方法:Zoomによるwebライブ配信<br>受講者数：6名（事前予約制）<br>③要素技術 生産技術研究講座<br>開催日：令和3年12月8日～21日<br>開催方法：YouTubeによるWeb配信<br>受講者数：14名（事前予約制） | 人とくるまのテクノロジー展2021への出展支援<br>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、主催者により開催中止とされたため中止した。<br>（但し、オンライン出展のみ実施） | 次世代自動車コーディネーター2名配置(財団所属)<br>企業訪問件数：156件<br>（内新規18件） |

## ８　静岡型航空産業育成事業　　事業費 37,589,340 円

航空機産業における中小企業の受注活動の拡大や技術高度化を図るとともに、ＭＲＯ（整備・修理・オーバーホール）関連産業の視野を広げることを目的とする。

航空機産業の振興を図るため、以下の事業に取り組んだ。

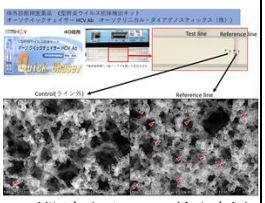
（1）助成事業

| 事業名・実績 | 助成例(抜粋) | |
|---|---|---|
| 航空機産業設備投資事業<br><br>助成件数 3件<br>(中小企業 2件)<br>確定金額 33,104千円 | 大型形彫放電加工機<br><br>大手メーカーより同社内及びTier1メーカーにて対応困難なジェットエンジン部品の放電加工を移管したいと打診に対応するため、大型ワークに対する微細形状加工及びロータリーテーブルを使用した高精度割り出し加工を行う必要があり、生産体制の増強に向け、最新型の大型形彫放電加工機を導入した。 | <br>大型形彫放電加工機 |

## 9　医療機器産業基盤強化推進事業　　事業費　202,238,965 円

医療機器産業等の基盤強化に必要な初期投資を重点的に支援し、医療現場の課題の解決に繋げると共に、県内中小企業の医療健康産業など「命を守る産業」へのシフトを図る。

（1）助成事業

| 実績 | 助成例(抜粋) | |
|---|---|---|
| 助成件数 17件（中小企業17件）<br>（初期投資助成事業 13件、研究開発・事業化助成事業 4件）<br>確定金額 189,973千円 | イムノクロマト_NanoSuit検査法―適用範囲の拡大に向けた開発（研究開発・事業化助成事業）<br><br>「卓上電子顕微鏡を用いたNanoSuit_イムノクロマトグラフィ法」に関する論文を発表し（J Pharm Biomed Anal.　2021)、本技術を公知のものとした。すなわち本事業の研究成果として、多様なウイルスなどの病原体や生体高分子の検出に対応できることが明白となり、この技術を発展させれば、多様な感染症の病原体や体内環境情報の検出にも役立つことが強く示唆された。 |  <br>C型肝炎ウイルスの検出事例 |

## 公２　経営基盤強化　　事業費 283,111 千円（ 338,063 千円）

企業が抱える経営課題等への相談や経営革新への取組に対する指導、課題解決のための専門家派遣、下請企業への受注機会の提供、取引条件の改善支援、設備投資に対する有利な条件の資金の供給等、中小企業の経営基盤の強化を図る事業を行った。

**〇経営支援**

・中小企業支援センター事業（中小企業の取組を支援する支援機関等との連携　中小企業が抱える課題解決のための専門家派遣事業）

・下請振興事業（中小企業への取引拡大を図るための取引あっせん、商談会等の開催）

・中小企業の生産性向上への支援（人材育成を目的としたスクール・ミニスクールの開催、静岡県ＩｏＴ活用研究会の運営、テレワーク導入促進支援、国、県等の支援情報の一元的提供や企業間のネット上での交流サイト「しずおか産業創造プラットフォーム」の運営

**〇経営等診断**

・高度化資金貸付診断

・経営革新計画、地域経済牽引事業計画の作成支援等

**〇設備支援**

・設備貸与、振興貸与、設備資金貸付事業等の債権管理

## 1　中小企業支援センター事業　　事業費 99,404,144 円

経営の助言、調査、研究、情報の提供等を行うことにより中小企業の経営資源の確保を支援した。

### (1)支援体制整備事業

① 支援機関等連携促進事業

中小企業支援機関との連携

◇「しずおか中小企業支援ネットワーク全体会議」（主催:静岡県信用保証協会）

開催日:令和3年4月28日(水)15:00～16:30

開催方法:オンライン(Microsoft「teams」)

内容:　・中小企業庁事業環境部金融課長　貴田仁郎 氏 、情報交換

◇「令和3年度　静岡県支援機関連携促進会議」（主催:（公財)静岡県産業振興財団）

県内支援機関等との情報交換、事業連携のための会議

日時:　令和3年8月24日(火)　14:00～16:30

会場:　WEB（Zoom）

《内容》

・講演：「中小企業基盤整備機構の支援策と対話によるIT支援」～コロナ禍における支援事例～

講師:中小企業基盤整備機構　中小企業支援ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ　長澤秀幸 氏

・(公財)静岡県産業振興財団からの情報提供

IoT研究会、専門家派遣事業、知財マッチング事業、他

参加者：34機関　34名

◇「第1回アドバイザリー会議」（主催:静岡県よろず支援拠点）

中堅志向企業支援事業について

日時:　令和3年9月22日(水)　10:00～11:00

会場:　WEB（Zoom）

◇「第2回アドバイザリー会議」（主催:静岡県よろず支援拠点）

中堅志向企業支援事業について

日時:　令和3年12月16日(木)　9:30～11:00

会場:　WEB（Zoom）

◇国・県内外の支援機関が実施する会議・イベント等への参加、支援策等の調査

支援策等の調査

.展示会出展による情報収集

| 開催日 | 展示会名 |
|---|---|
| 11/11 | 富士山麓産学官金連携ﾌｫｰﾗﾑ　(ﾌｧﾙﾏﾊﾞﾚｰｾﾝﾀｰ)<br>展示コーナー出展(財団事業PR) |
| 11/12～13 | 産業振興フェアinいわた<br>展示コーナー出展(財団事業PR) |

◇令和3年度関東ブロック中小企業支援機関連絡協議会（主催:公益財団法人東京都中小企業振興公社)）

日時:　令和4年3月25日(金)　（書面開催）

② 支援体制整備事業

ア 補助金等の認定支援

・事業再構築補助金申請　㈱エステック、㈱フクダサインボード

・地域未来牽引事業計画策定支援

㈱フジコー、ティーライフ㈱、ピジョンホームプロダクツ㈱、㈱エイディーディー

イ 専門家派遣の募集・登録

| | |
|---|---|
| 令和3年度当初登録者 | 521名 |
| 令和3年度新規登録者 | 32名 |
| 令和3年度更新による減 | △99名 |
| 計 | 454名 |

ウ　専門家派遣事業及び財団支援事業の広報

ホームページ、メールマガジン(月2回配信)、講習会・商談会などでＰＲ

エ 出張対応

支援メニュー紹介、経営相談、支援企業募集・発掘・相談、及び専門家派遣の事前調査・同行・事後訪問等
35回35人　28社・団体等

オ その他

ISO9001認証取得中小企業の内部監査員養成講座

令和3年10月7日・8日の2日間実施

会場　静岡市:静岡県産業経済会館会議室

参加者　24社　38名

**（2）専門家派遣事業**

創業者や中小企業者の経営基盤向上、新分野進出等を支援するため、経営・情報化・技術・デザイン・ＩＳＯ分野の専門家の登録と情報を公開し、中小企業者等からの要請に応じて専門家を派遣（1／3受益者負担）し、助言を行った。なお、ＩＳＯ分野で認証取得を目指す企業に対し長期（1企業10回予定）の専門家派遣を実施し、認証取得の支援を行った。

| | 経営 | 情報化 | 技術 | デザイン | ISO支援 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 企業数（社） | 293 | 61 | 19 | 39 | 9 | 421 |
| 実施回数（回） | 1,341 | 296 | 89 | 166 | 73 | 1,965 |

**（3）地域中小企業支援センター支援事業**

地域中小企業支援センターに、経営革新計画作成に対する指導・支援、経営革新計画遂行状況を把握するためのフォローアップ調査を委託した。

| 地域中小企業支援センター | 承認件数 | 相談件数 |
|---|---|---|
| 17か所 | 412件 | 1,025件 |

## ２　下請振興等事業

事業費 63,613,751円

県内中小企業への受注拡大を図るため、取引あっせんや商談会等を実施した。

**（1）下請振興事業**

①支援体制整備事業

ア　支援体制整備円滑化事業

下請取引に係わる企業データベース管理のため、企業カルテシステム（セールスフォース）を活用し、受注企業の検索、新規登録企業の入力、各種商談会・展示会の開催周知等を行った。また、受注企業検索支援サイト「静岡県ものづくり企業ナビ」をスタートさせた。

イ　支援機関等連携促進事業・支援担当者能力開発事業

全国またはブロック単位の会議及び研修会へ参加した。

○下請かけこみ寺相談員等研修会

○中産連主催研修会「機械加工の基礎」

○関東ブロック中小企業支援機関連絡協議会担当者

②窓口相談事業

ア　下請取引に係る苦情相談

・令和3年度より下請かけこみ寺相談員（全国中小企業振興機関協会派遣）を設置し、電話等による法律相談について助言を行った。

| 下請法関係 | | 下請法以外 | |
|---|---|---|---|
| 受領拒否 | 3件 | 債権回収 | 65件 |
| 支払遅延 | 0件 | 契約・取引 | 55件 |
| 代金減額 | 3件 | 損害賠償 | 6件 |
| 返品 | 2件 | 会社経営 | 0件 |
| 買いたたき | 7件 | その他 | 77件 |
| その他 | 24件 | | |
| 計 | 39件 | 計 | 203件 |

イ　顧問弁護士による法律相談

・弁護士による相談（相談日：原則毎月第2月曜日、年12回実施）

| 相談内容 | 件数 |
|---|---|
| 債権回収 | 3件 |
| 契約・取引 | 2件 |
| 損害賠償 | 1件 |
| 会社経営 | 0件 |
| その他 | 3件 |
| 計 | 9件 |

③取引あっせん事業

ア　受発注企業の情報提供事業

○下請取引あっせん集計一覧表

| 項目＼年度 | | 令和2年度 | 令和3年度 |
|---|---|---|---|
| 登録企業数 | 発注企業 | 761 | 761 |
| | 受注企業 | 2,900 | 2,973 |
| 発注申し出件数 | | 67 | 86 |
| 受注申し出件数 | | 29 | 24 |
| あっせん紹介件数 | | 192 | 291 |
| あっせん紹介結果 | 成　立 | 29 | 20 |
| | 不成立 | 948 | 132 |
| | 折衝中 | 379 | 518 |
| 契約成立当初受注金額 | | 11,048千円 | 9,847千円 |
| 発注開拓企業件数 | | 77 | 64 |

※コロナ禍、下請企業の受注量確保のため、県内外の大手・中堅企業64社（専門調査員巡回34社を含む）に対し巡回による発注開拓を行い、86件の新規発注案件を開拓した。

○情報の提供

静岡新聞、民間情報機関誌等により、受・発注情報を広く提供した。

○専門調査員による受発注企業情報の収集

発注企業情報収集専門調査員（2名）により、受・発注登録企業を巡回し、近況を把握すると共に、各種の相談に応じたほか、発注案件の掘り起こしを行った。また、発注企業34社、受注企業126社を訪問し、29件の発注案件を掘り起こした。

○受注企業検索支援サイト

「静岡県ものづくり企業ナビ」登録企業数 265社（R4.3.31）

イ　商談会等の開催事業

県内中小企業の取引拡大と販路開拓を支援するため、以下の事業を実施した。

○受発注企業合同商談会（静岡・愛知・三重・岐阜）　※半年後調査による実績

| 開催年月日 | 開催場所 | 参加企業 | | 商談件数 | 商談成立件数 | 商談成立金額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 発注企業 | 受注企業 | | | |
| R3.10.14 | 名古屋市 | 132社（県内5社） | 416社（県内64社） | 62件（WEB56件） | 4 | 3,510千円 |

○展示会出展支援

新たな販路開拓を積極的に行う中小企業を支援するため、大規模な集客が見込まれる首都圏の専門展示会に静岡県ブースとして共同出展した。

| 開催期日 | 開催場所 | 展示会名 | 出展者数 | 成立件数 | 成立金額 |
|---|---|---|---|---|---|
| R4.3.16～18 | 東京ビックサイト | 第26回機械要素技術展 | 12社 | 半年後に調査実施 | |

○特定発注企業個別展示商談会

発注案件を持つ特定企業１社とのマッチングを目的に、複数の県内中小企業が技術・製品の展示を行う展示商談会を開催した。なお、予定していた㈱島津製作所（京都府）との商談会については、リアル開催を目的に令和５年度に延期した。

| 開催期日 | 参加企業 | |
|---|---|---|
| | 発注企業 | 受注企業 |
| 展示会<br>R3.11.26 | ㈱オティックス（愛知県西尾市）<br>主力製品：エンジン部品 | 12 社 |

※半年後に調査実施

ウ　発注企業現況調査

静岡県が県内発注企業 300 社に実施した「発注企業現況調査」の結果に基づき、発注案件「あり」または「検討中」と回答のあった 31 社のうち、12 社に対し発注開拓訪問を行った。

エ　下請取引適正化講習会の開催事業

下請取引の適正化を推進するため、「下請代金支払遅延等防止法」等の内容について講習会を開催した。

| | 開催日 | 会場 | 講師 | 参加人数 |
|---|---|---|---|---|
| 1 回 | R3.6.28 | 浜松労政会館（浜松市） | 公正取引委員会　中部事務所 | 35 社　52 名 |
| 2 回 | R3.7.13 | 富士商工会議所（富士市） | | 33 社　53 名 |
| 3 回 | R3.7.14 | 静岡県産業経済会館（静岡市） | | 37 社　56 名 |
| 合　計 | | | | 105 社 161 名 |

**（2）情報支援事業**

①支援体制円滑化事業

ア　情報機器の整備及び情報収集・提供

ホームページの活用による情報提供とともに、各種施策についてメールマガジンの発行、相談窓口において経営資料の提供・閲覧・視聴覚教材（ビデオ）の貸出等を行うほか、所内のネットワーク機器を整備した。

・ホームページへのアクセス件数　　75,412 件
・メールマガジンの発行　　25 回（月 2 回）　延べ 56,864 人（ 2,274 人／回）
・ビデオ・ＤＶＤ等貸出　　28 件　101 本

イ　支援機関・政府系金融機関等の公的融資・助成金等の情報を収集し、ホームページ上に公開
「しずおか産業創造プラットフォーム」活用支援

②窓口等相談事業

中小企業者等からの経営資源に係る情報相談等に対応するため、相談窓口に情報相談員を配置して情報資料の閲覧、視聴覚ビデオの貸出、インターネット等を活用した検索サービスを行った。

また、静岡県中小企業診断士協会の支援を受け、毎週水曜日に相談員を配置し、創業や経営相談に応じた。

○ 窓口相談件数

（単位：件）

| 取引相談 | 経営全般 | 資金調達 | ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ | 法律・労務・税務 | 技術 | ﾋﾞｼﾞﾈｽﾌﾟﾗﾝ | 事業提携・会社設立 | 省エネ・ISO | 特許 | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 395 | 159 | 97 | 266 | 265 | 313 | 79 | 14 | 0 | 8 | 669 | 2,265 |

## ３　静岡ものづくり生産性向上推進人材育成事業

事業費 9,204,416 円

製造業の現場における生産性向上につながる取組（品質向上、コスト低減、納期短縮等）を推進するリーダー育成を目的とした「静岡ものづくり生産性向上推進リーダー育成スクール」については、ウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言を受けて中止とした。なお、特定企業に対して、従業員全体の意識改革につなげる人材育成事業であるミニスクールを７社で実施した。

○「ミニスクール」の開講

開講期間：R3.10. 1～R4.2.28

受講者数：5社

対象者　：企業現場生産等担当者

受講料　：個別

【開催実績】

| 区分 | | 実施日 | 主な講義、実習内容 | 担当講師 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 阿形工業㈱（菊川市） | 6/15 | 作業が楽になる動作の原理 | 飯田 | |
| | | 6/29 | ７つのムダ、動作経済の原則 | | |
| | | 7/13 | 現場でムダを見つける実践 | | |
| 2 | ㈱松岡カッター製作所（静岡市） | 6/22 | 改善事例紹介、動作経済の原則 | 山本 | １回目<br>監督者、管理者 |
| | | 6/29 | 作業（配置）の原則 | | |
| | | 7/6 | 機械器具設計（治具使用）の原則 | | |
| 3 | ㈱ニッケー工業（静岡市） | 10/1 | VSMの作成方法 | 山本 | ２回連続実施 |
| | | 10/8 | ７つのムダ、ワークサンプリング | | |
| | | 10/15 | ５定、動作経済の原則 | | |
| 4 | ㈱ニッケー工業（静岡市） | 10/22 | 人動線の原則ともの動線の原則 | 山本 | |
| | | 10/29 | スケジューリングの方法 | | |
| | | 11/5 | 流れをつくるレイアウト | | |
| 5 | 浜口ウレタン㈱神ケ谷工場（浜松市） | 11/26 | 職場のムダ、動線調査 | 小楠 | ２工場並行実施 |
| | | 12/24 | 運搬分析、運搬活性化示数の作成 | | |
| | | 1/28 | 改善策及び改善レイアウト作成 | | |
| 6 | 浜口ウレタン㈱西山工場（浜松市） | 12/10 | 職場のムダ、動線調査 | 小楠 | |
| | | 1/14 | 運搬分析、動線内の仕掛品量確認 | | |
| | | 2/11 | 改善策及び改善レイアウト作成 | | |
| 7 | ㈱松岡カッター製作所（静岡市） | 1/10 | 改善事例紹介、動作経済の原則 | 山本 | ２回目<br>若手、ベテラン職員 |

## ４　中小企業ＩｏＴ活用促進事業

事業費 22,348,000 円

静岡県ＩｏＴ活用研究会の運営業務を受託し、県内中小企業におけるＩｏＴの利活用を促進することにより、新たな企業連携・産学官連携の構築及び県内企業の基盤技術の強化、経営力の向上を図った。

### （1）静岡県ＩｏＴ活用研究会

| 【会員数】329 社・団体　（企業 278・産業支援機関 20・大学・学校 6・金融機関 15・市町 10） | |
|---|---|
| IoT 環境を構築する企業人材育成 | ○IoT 大学連携講座<br>静岡大学情報学部　峰野博史教授の監修<br>・IoT の専門知識がない方でも簡単にデータ収集ができる事を体験。IoT は難しい!高い! というイメージを緩和させる目的で開催<br>①第 1 部「IoT 環境構築のための技術知識講座」<br>開催日　令和 3 年 6 月 4 日(金)　13:30～16:00　　開催方法　WEB(Zoom)<br><br>講　師　静岡大学情報学部　峰野博史　教授<br>≪内　容≫<br>・IoT とは？　・IoT システム開発の概要<br>・IoT システム運用に求められる機能とスキル　・IoT システム開発ノウハウ紹介 |

| | |
|---|---|
| | ②第2部　わかりやすいIoTを用いた現場実装講座<br>◇静岡会場<br>参加者　：10社<br>実習　：R3年6月22日（火）　静岡県工業技術研究所<br>参加者現場設置　：6/23～9/8<br>発表会　：R3年9月8日(火) WEB<br>◇浜松会場<br>参加者　：8社<br>実習　：R3年9月16日（木）　浜松工業技術支援センター<br>参加者現場設置　：9/17～12/10<br>発表会　：R3年12月10日(金)　浜松工業技術支援センター<br>◇沼津会場<br>参加者　：8社<br>実習　：R3年12月17日(金)　沼津工業技術支援センター<br>参加者現場設置　：12/18～2/23<br>発表会　：R4年2月24日(木)　WEB<br><br>◇IoTサポート専門家<br>下記IoT専門家が、各会場実習時の受講者サポートや発表会に向けての現場実装サポートを行った。<br>≪㈱叢雲堂　池谷隆典≫<br>・静岡講座サポート　・浜松講座サポート　・沼津講座サポート<br>(サポート企業)<br>・長泉ﾊﾟｰｶｰﾗｲｼﾞﾝｸﾞ㈱・梅沢鋳工㈱　・内田計器工業㈱　・芝原工業<br>・ソフトプレン工業㈱・㈱ヤマザキ　・(有)石橋製作所　・(有)清和電機製作所<br>・静岡ガス・エンジニアリング㈱　・伊豆技研工業㈱<br>≪Re-CreSor Labo 北野幹夫≫<br>・静岡講座サポート　・浜松講座サポート<br>(サポート企業)<br>・㈱松下工業　・㈱イハラ製作所　・ソフトプレン工業㈱　・㈱小楠金属工業<br>・内田計器工業㈱　・㈱丸武部品<br>≪Japan IT produce 長谷川　徹≫<br>・静岡講座サポート　・浜松講座サポート<br>(サポート企業)<br>・先生精機㈱　・静岡電装㈱　・㈱イハラ製作所　・㈱平安コーポレーション<br>≪名倉IT経営研究所　名倉真史≫<br>・静岡講座サポート・浜松講座サポート　・沼津講座サポート<br>(サポート企業)<br>・㈱サイダ・UMS　・㈱松下工業　・愛工業㈱　・㈱丸武部品<br>・川崎工業㈱　・㈱新冷熱技研 |
| 個別企業支援 | 令和2年度「IoT大学連携講座」の参加企業で、継続支援を望む企業の支援を行った。<br>①東亜エレクトロニクス（浜松市北区）<br>（内容）組立作業の作業性向上のための作業データ取得<br>②大洋コンクリート工業　（浜松市北区）<br>（内容）　コンクリート製造における型枠数の把握の見える化<br>③八木工業㈱　（藤枝市）<br>（内容）　工場内設備の見える化→スマホにて状況確認<br>④川崎工業㈱　（菊川市）<br>（内容）機械油の使用量管理<br>⑤ソフトプレン工業㈱　（浜松市）<br>（内容）　設備の稼働状況モニタリングと担当者へのメッセージ連絡 |
| IoT 活用事例普及・広報 | ○ビジネスマッチング・相談会<br>①「産業振興フェアinいわた」に「IoT展示コーナー」を設置<br>・開催日　：令和3年11月12日(金)～13日(土)<br>・会　場　：アミューズ豊田(磐田市)<br>・開催規模　：全体117社　　来場者　2,500名 |

| | |
|---|---|
| | ○IoT 展示コーナー　：相談 30 件<br>・講演会「静岡県中小企業における DX の現状と課題」<br>講師　：ふじのくに ICT 人材育成プロデューサー　阪口瀬理奈　氏<br>開催日　：令和 3 年 11 月 12 日(金)　アミューズ豊田　ゆやホール<br>参加者　：55 社<br>②「富士山麓産官学金連携フォーラム」に「IoT 展示コーナー」を設置<br>・開催日　：令和 3 年 11 月 11 日(木)<br>・会場　：プラサヴェルデ　多目的ホール(沼津市)<br>・出展内容　：IoT 研究会活動紹介、個別相談<br>㈱ゴードーソリューション→IoT による工場の見える化紹介<br>伊豆技研工業㈱→ラズパイを使用した IoT 活用事例(サイボウズ社「kintone」を使用した社内情報共有化)<br>・商談・相談件数　:30 件<br>③IoT 個別相談　随時、相談受付。 |
| 研究会の運営 | ○令和３年度　静岡県 IoT 活用研究会　総会<br>開催日・開催方法　令和 4 年 3 月 25 日(金)　WEB (Zoom)<br>参加者　66 名 |

**(2)ふじのくにＩＣＴ人材育成プロデューサー事業**

ＡＩやＩＣＴなどの先端技術の急速な発展に対応するため、ＩＣＴ人材育成プロデューサー（１名）を配置し、ＩＣＴ人材育成に関する施策の立案・調査や、ＩＣＴに関する企業の技術力向上を図った。

| 内容 |
|---|
| (1) 配置人数　1 名<br>(2) 活動日数　136 日 (4 月～3 月末)<br>(3) 活動内容<br><br>1 中核的人材等を対象とした人材育成施策の支援<br>・静岡大学連携　データ分析講座（オンライン）の企画、静岡県立大学連携講座の企画、沼津高専連携講座の企画、運営<br><br>2 次世代人材育成施策の検討及び実施支援<br>・プログラミングコンテストの実施支援、プログラミングキャンプ、の実施支援<br><br>3 ICT 人材育成事業に関する情報発信<br>・「ふじのくに ICT 人材育成事業 WEB サイト」を通して、情報発信を行った。<br>・TECH BEAT SHIZUOKA WEEK で、地方企業とスタートアップのマッチングを促進するためのプレゼンを行った。<br><br>4 来年度以降の ICT 人材育成施策に関する調査<br>今年度実施する施策を踏まえて、来年以降へ反映すべき点を分析した。<br>◇来年度事業の企画支援<br>・今年度の結果を踏まえて、静大連携データ分析講座、県立大学連携講座、沼津高専連携 AI 講座、ジュニアプロコン・キャンプ等の企画を支援。<br>・高度 AI 人材育成講座の企画を支援した。<br><br>5 県内外の ICT 関連動向の情報収集及とネットワーキング<br>◇製造業対象「ICT およびロボットの活用に関するアンケート調査」の実施<br>・2018～2020 年度に実施したアンケート調査をベースに、今年度も同様のアンケート調査を実施。<br>・約 800 社へアンケートを配布し、約 300 件の回答を回収。<br>・結果は「ふじのくにＩＣＴ人材育成ＷＥＢサイト」にて公開。<br><br>◇経済産業省・NEDO「AI Quest」事業への協力<br>◇総務省後援「ワイヤレス IoT プランナー検定」の開催協力 |

**（3）テレワーク等導入促進事業**

県内中小企業におけるテレワーク等の導入・活用を促進するため、①情報提供・意見交換・交流の場として「テレワーク等導入研究会」の開催、②同研究会の成果を中小企業に普及啓発するオンラインセミナーとテレワーク等に関連するシステムを使用した機器体験会から構成される「静岡のテレワークを考えるセミナー」を開催した。また、③テレワーク等導入時における課題・解決方法等をとりまとめた「静岡県テレワーク導入ガイドブック」を制作した。

①「テレワーク等導入研究会」の開催：２回　(回数は令和２年度からの継続)

| 回数 | 開催日 | 開催内容 |
|---|---|---|
| 第3回 | R3.11.5 | 出席者の事例発表及びパネルディスカッション<br>①開催場所　オンライン開催(Zoom による Web 会議)<br>②出席者　・株式会社コハマ　代表取締役　小濱芳太郎　氏<br>・三和事務機株式会社　代表取締役　鈴木研　氏<br>・社会福祉法人美芳会　人事　大塚渉爾　氏<br>・株式会社 Geolocation Technology<br>営業企画課　小泉佳之　氏<br>・＜アドバイザー＞社会保険労務士　村松秀雄　氏<br>(静岡働き方改革推進支援センター)<br>・＜進行＞公財団法人静岡県産業振興財団 阪口瀬理奈<br>③要旨　・初導入企業は基本的なツールを一式導入し、使いながらよりよいツールを検討すべきである。<br>・業務の効率化や人材採用面でのメリットがあるため、時間をかけてでも環境整備すべきである。<br>・推進時には「社員にとってメリットがある」ということを伝えるべきである。 |
| 第4回 | R4.2.16 | 本事業終了時に作成する「テレワーク事例集」の内容について、本研究会参加者からの意見聴取を行った。<br>①開催場所　・オンライン開催(Slack によるチャット形式による会議)<br>②参加者　・研究会参加者（令和2年度・3年度研究会参加企業等)<br>③要旨　・テレワーク導入が人材採用にも効果になる話を入れてほしい。<br>・うまくいかず挫折した事例と、それに対する具体的なアドバイス、費用対効果に関しても入れると良い。<br>・（作成例として提示した事例集の表紙に対して）教科書をイメージさせるので手に取りにくい。いろんな方が手に取りたくなるような表紙にすると良い。<br>・(社会保険労務士の先生から)事業主と話していると【費用対効果】もしくは【費用の目安】は知りたいと言う話が出てくる。 |

「テレワーク等導入研究会」の開催に当たり、県内でテレワークを導入している企業に対して事例調査を目的としたヒアリング（実訪問・Web を問わず）を行ったほか、「Slack」サービス(ビジネス向けチャットツール)を活用して令和2年度の当事業参加者及び令和3年度のヒアリング実施先企業を対象とした招待制のコミュニティを開設し、共通する課題等の抽出や導入時の課題や解決方法について、自由な意見交換を行った。

②「静岡のテレワークを考えるセミナー」の開催：４回)

「テレワーク等導入研究会」の成果を県内中小企業に普及及び啓発するためのセミナーと導入関連のテレワーク等に関連するシステム等を使用した機器体験会を開催した。

なお、オンラインセミナーとして開催した第１回・第３回・第４回のセミナーについては産業振興財団 YouTube チャンネルにて「見逃し配信」として内容を公開した。

| 回数 | 開催日 | 開催内容 |
|---|---|---|
| 第１回 | R3.8.3. | 「移動の削減」をテーマにした登壇者による事例発表と、パネルディスカッションを行った。<br>①開催場所　オンライン(Zoom ウェビナー)開催<br>②登壇者　・(株)Geolocation Technology　営業企画課　小泉佳之　氏<br>・丸尾興商(株)　専務取締役経理部長　豊田浩子　氏<br>・＜アドバイザー＞社会保険労務士　村松秀雄　氏<br>(静岡働き方改革推進支援センター) |

| | | |
|---|---|---|
| | | ・＜進行＞公益財団法人静岡県産業振興財団　阪口　瀬理奈<br>③申込者数　55名<br>④当日視聴者数　42名<br>⑤見逃し配信再生回数　129回<br>（令和4年3月29日現在　※令和3年8月10日公開） |
| 第2回 | R3.11.<br>11(沼津)<br>12(磐田)<br>13(磐田) | 「はじめてのテレワークツール体験会」として、機器体験会・相談コーナーの開催をした。（「静岡県IoT研究会」と「静岡県テレワーク等導入研究会」として共同出展）<br>①　令和3年11月11日（沼津会場）<br>・「富士山麓産学官金連携フォーラム2021」内にて開催<br>令和3年11月12日（金）・13日（土）（磐田会場）<br>・「第11回　産業振興フェア in いわた」内にて開催<br>②　開催内容<br>ⅰ）テレワークツール体験コーナーの設置（沼津会場のみ）<br>県内の事務機器販売会社及びベンダーの協力で、実際に「テレワークツール」を体験できる場を提供した。<br>・(株)コハマ<br>基本的なテレワークツールの体験に関する展示。特にWeb会議向けツールの展示を中心に行った。<br>・セブンセンスマーケティング(株)<br>「勤怠管理」と言う観点から、同社が開発しているツールの展示を行った。<br>ⅱ）テレワーク等導入相談コーナーの設置<br>・担当者が常駐し、基本的なテレワークに関する普及啓発活動を行った。<br>③相談コーナーにおける対応件数<br>・11月11日（木・沼津）　15件<br>・11月12日（金・磐田）　19件<br>・11月13日（土・磐田）　8件<br>合計　42件 |
| 第3回 | R3.12.9 | 「機器・ツール」、「セキュリティ」、「人事評価」をテーマにした登壇者による事例発表と、パネルディスカッションを行った。<br>①開催場所　オンライン(Zoomウェビナー)開催<br>②登壇者　・社会福祉法人美芳会　人事担当　大塚渉爾　氏<br>・株式会社コハマ　代表取締役　小濱芳太郎　氏<br>・三和事務機株式会社　代表取締役社長　鈴木研　氏<br>・＜アドバイザー＞社会保険労務士　村松秀雄　氏<br>（静岡働き方改革推進支援センター）<br>・＜進行＞公益財団法人静岡県産業振興財団　阪口　瀬理奈<br>③申込者数　28名<br>④当日視聴者数　17名<br>⑤見逃し配信再生回数　110回<br>（令和4年3月29日現在　※令和4年12月17日公開） |
| 第4回 | R4.2.24 | 「導入できる部署からのテレワークの導入」をテーマにし、学識経験者による基調講演、登壇者による事例発表と、基調講演者・登壇者によるパネルディスカッションを行った。<br>①開催場所　オンライン(Zoomウェビナー)開催<br>※「静岡市コ・クリエーションスペース」より配信<br>②基調講演・常葉大学経営学部経営学科　教授　小豆川裕子　氏<br>②登壇者　・三和事務機株式会社　代表取締役社長　鈴木研　氏<br>・株式会社影山鉄工所　HRブランディング部　山崎智美　氏<br>・＜進行＞公益財団法人静岡県産業振興財団　阪口瀬理奈<br>③申込者数　61名<br>④当日視聴者数　40名<br>⑤見逃し配信再生回数　58回<br>（令和4年3月29日現在　※令和4年3月10日公開） |

③研究成果の普及に関する業務

研究会で得た成果を、広く県内中小企業がテレワーク導入時の参考として活用できるよう、「静岡県テレワーク

導入ガイドブック」としてとりまとめた。

### （4）しずおか産業創造プラットフォーム事業

県内で新たな事業に取り組む企業に対し、国、県等の補助事業など各種支援制度の一元的な提供や、企業同士の協業や支援機関との困りごと相談等、をオンライン上で進めるコミュニティサイト「しずおか産業プラットフォーム」の運営を開始した。

＊実施期間（R4.1.4～R43.31）

| 区分 | 実施内容 |
|---|---|
| ランディングページ(LP)<br>の管理、更新 | 1 新着情報の収集、リスト整理、更新<br>・新着情報63件掲載<br>2 支援情報検索データベースに掲載する支援情報の収集、<br>リスト整理、更新<br>3 ＬＰ閲覧数状況<br>・訪問回数12,161回<br>4 その他<br>・ＬＰバナー追加・修正等 |
| コミュニティサイト運用 | 1 メンバー管理(利用者からのコミュニティサイト参加申請に対する承認等)<br>・メンバー累計212名（R4.3.31現在）<br>2 トークルームの管理・運営業務 新設4件<br>3 マガジン製作・掲載<br>・マガジン63件<br>・マガジン閲覧数4,163回<br>・累計アクセス回数 22,594 回 |

## ５　産業成長戦略推進事業　　事業費 6,400,630 円

### （1）販売戦略構築支援事業

① 販売戦略サポート委員会

販路開拓・拡大に課題を抱える県内中小企業 9 社に対し、外部専門家が実践的にアドバイスを行う委員会を 4 回開催した。

| 回数 | 開催日 | 出席企業 | 製品等 | アドバイザー出席数 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | R3.6.21(月) | ㈱フクダサインボード<br>（浜松市） | 非接触給電サイン<br>「KAGAYAKI」 | 4名 |
| 2 | R3.10.19(火) | 杉山紙業業㈱<br>（静岡市） | 和紙製シーツ&枕カバー | 4名 |
| 3 | R3.11.2(火) | ㈱丸源竹内組<br>（浜松市） | 遮熱塗料「熱」コネーゼ、「日差し」コネーゼ | 4名 |
| | | ㈱イーモア<br>（浜松市） | 防滑材「クリアグリップ」<br>「カパラグリップ」 | |
| 4 | R3.12.23(木) | ダイトー水産㈱<br>（焼津市） | アスリート向けリカバリーゼリー「オレは摂取す」 | 5名 |
| | | ㈱AMITE<br>（浜松市） | 発火しないバッテリージャンプスター「TRC-Jp」 | |

成果（前年度参加企業の支援実績）

| 企　業　名 | 成　果 |
|---|---|
| 良知樹園㈱（焼津市） | アドバイザーの助言を参考に、庭木のマッチングプラットフォームを開設して 12 月に記者発表会を行ったところ、問合せが急増している。 |

| | |
|---|---|
| ㈱中央パッケージング（静岡市） | 財団の事業プロデュース事業を活用して、県内ドラッグストア等に販路開拓を積極的に行ったところ、取引先の拡大に結びついた。 |

②技術ニーズ説明会

第１回：大阪ガスグループ（開催日：R3.8.27(金)、開催方法：オンライン）

| | |
|---|---|
| 出席者数 | 37 社 8 団体、52 名 |
| 説明会後の提案 | 3 社 5 提案をエントリー。うち 3 社 3 提案について個別面談実施。<br>【提案企業及び提案内容】<br>○伊豆技研工業㈱<br>業務用冷凍・冷蔵設備の遠隔連動システム<br>○東海安全警備保障㈱<br>ガードマンロボットによる交通誘導<br>○㈱巴川製紙所<br>チタン系ナノ材料の新規用途開発パートナー |

第２回：NTT ファシリティーズ（開催日：R3.12.10(木)、開催方法：オンライン）

| | |
|---|---|
| 出席者数 | 18 社 3 団体、23 名 |
| 説明会後の提案 | 7 社 7 提案をエントリー。うち 4 社 4 提案について個別面談実施。<br>【提案企業及び提案内容】<br>○伊豆技研工業㈱<br>オフィス執務者の存在状況センシング技術<br>○東海部品工業㈱<br>自然に緩まず人力で簡単に緩むねじ<br>○東洋エレクトロニクス㈱<br>電池レス・配線レスの無線式多点温度計測センサ<br>○㈱ナルテック<br>オフィス執務者の存在状況センシング技術 |

第３回マレリ（開催日：R4.3.9(水)、開催方法：オンライン）

| | |
|---|---|
| 出席者数 | 56 社 4 団体、85 名 |
| 説明会後の提案 | エントリーシート受付中（4 月 8 日締切） |

## （2）地域経済牽引企業創出支援事業

地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、高い経済的波及効果を及ぼす「地域経済牽引事業計画」の作成及び承認を支援するため、県内中小企業者（2 社）に対し、専門家（中小企業診断士）の派遣を実施した。そのほか、財団が直接、地域未来投資促進法に係る確認申請を含めた作成支援（2 社）を行った。

・専門家１名×3 回　（派遣先数 2 社・派遣先負担なし）

＜派遣先＞

| NO | 企業名 | 所在地 |
|---|---|---|
| 1 | ㈱フジコー | 三島市 |
| 2 | ㈱エイディーディー | 沼津市 |

＜財団による直接支援先＞

| NO | 企業名 | 所在地 |
|---|---|---|
| 1 | ティーライフ㈱ | 島田市 |
| 2 | ピジョンホームプロダクツ㈱ | 富士市 |

## （3）企業情報 DB 運用事業

１．照会対応

静岡県内企業技術情報 Web サイト「テクノロジー静岡」の閲覧企業からの問い合わせに対し、静岡県先端産業創出プロジェクトやサイト掲載企業、プロジェクト参画企業等との連絡調整を実施し、サイト閲覧企業とのビジネスマッチングに向けた調整を行った。（マッチング依頼 11 件に対し、16 社・機関を紹介）

２．情報収集と利用促進

・業務を円滑に進めるため、プロジェクト及びサイト掲載企業への訪問、意見交換を通じ、情報収集を行った。（全プロジェクト及びサイト掲載企業20社への情報収集を実施）

・静岡県先端産業創出プロジェクトに関する独自技術を保有していると思われる企業31社に対し、サイトを紹介するとともに掲載を依頼した。

## ６　事業承継支援事業

事業費 412,658 円

・M&A技術評価支援事業

静岡県事業承継・引継ぎ支援センターが行うM&A・マッチング支援の促進を図るため、当センターに相談のあった売り希望企業に専門家（技術士）を派遣し、マッチング候補先の選定に資するための技術評価を行った。

| 派遣日 | 被評価企業 | | 派遣技術士 | |
|---|---|---|---|---|
| | 地域 | 業種 | 技術部門 | 総合評価 |
| R3.12. 3 | 東部 | 建設業 | 建設 | 4（5点満点） |
| R4. 1.27 | 中部 | 製造業 | 農業 | 4（5点満点） |
| R4. 2. 8 | 西部 | 製造業 | 環境 | 3（5点満点） |

## ７　高度化資金貸付診断等事業

事業費 18,588,755 円

高度化事業は、中小企業者が共同して経営基盤の強化を図るために工場団地や共同店舗等を建設する事業に対して、県が長期かつ低利な資金を貸し付けるとともに、貸付前、貸付後の経営診断・助言等の実施により、支援する制度である。 静岡県からの委託により、経営診断・助言及び財務分析を実施した。

○ 高度化資金貸付実績

・令和３年度高度化資金貸付条件（通常）
　貸付期間：20年間（3年間据置）
　貸付利率：0.35％
　貸付割合：貸付対象経費の80％以内
　貸 付 先：事業協同組合、街づくり会社（三セク）等
・令和３年度高度化資金貸付額　（県商工金融課所管）：　0千円（R4.3.31現在）
・令和３年度末高度化資金貸付残高（県商工金融課所管）：10,209,715千円（R4.3.31現在）

### （1）高度化資金貸付等に係る診断実績

| 診断区分 | 内容 | 計画件数 | 実施件数 |
|---|---|---|---|
| 新規貸付診断 | ・新規貸付の際の事業計画の妥当性判断や助言を行うための診断 | 6 | 6 |
| 条件変更診断 | ・既往貸付金の償還猶予に伴う経営改善計画の妥当性判断や助言を行うための診断 | 6 | 6 |
| フォローアップ診断 | ・事後助言（フォローアップ） | 18 | 24 |
| 対象診断 | ・高度化事業への参加を希望する企業等に対する個別経営診断 | 2 | 0 |
| 合　計 | | 32 | 36 |

### （2）財務分析の実績

| 区分 | 計画件数 | 実施件数 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 財務分析 | 50 | 51 | ・高度化団地等へ進出している企業の財務分析 |

### （3）高度化事業調整会議

受託業務を円滑かつ適正に遂行するため、関係機関（県経営支援課、商工金融課、静岡県中小企業団体中央会）と診断案件に係る情報交換を行った。（開催回数：２回）

## ８　経営革新計画支援事業

事業費 25,916,205 円

経営革新計画の申請等に関する相談・受付及び調査等を行った。また、中小企業の経営革新の促進を図るため、地域中小企業支援センター等と連携して普及・啓発や相談助言等を行なうとともに、経営革新計画事例集を作成した。

| 項目 | 実施内容 | 令和３年度 | 令和２年度 |
|---|---|---|---|
| 出張、窓口等個別相談 | 相談件数 | 371 件 | 344 件 |
| 経営革新計画申請 | 申請受付件数 | 新規　162 件<br>変更　　4 件 | 新規　200 件<br>変更　　1 件 |
| 経営革新計画承認 | 承認件数 | 新規　162 件<br>変更　　4 件 | 新規　200 件<br>変更　　1 件 |
| 地域中小企業支援センター等への巡回指導 | 巡回回数 | 162 回 | 112 回 |
| 経営革新計画事例集の作成 | 作成部数 | 3,000 部 | 3,000 部 |
| 実施状況のとりまとめ・報告（財団分） | 調査件数 | 110 件 | 108 件 |
| 実施状況のとりまとめ・報告（全体） | 調査件数 | 518 件 | 474 件 |
| 補助金に係る申請書類の受付状況 | 作成支援、<br>受付件数 | 新商品99件、販路99件、生産性6件<br>（新商品77件、販路80件、生産性5件） | |

地域中小企業支援センター（17 か所）に、経営革新計画作成に対する指導・支援、経営革新計画遂行状況を把握するためのフォローアップ調査を委託した。（再掲）

| 委託支援センター | 承認件数 | 相談件数 | 委託支援センター | 承認件数 | 相談件数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 下田商工会議所 | 2 件 | 10 件 | 藤枝商工会議所 | 1 件 | 32 件 |
| 伊東商工会議所 | 5 件 | 20 件 | 島田商工会議所 | 2 件 | 13 件 |
| 熱海商工会議所 | 5 件 | 14 件 | 掛川商工会議所 | 5 件 | 39 件 |
| 三島商工会議所 | 15 件 | 50 件 | 袋井商工会議所 | 25 件 | 88 件 |
| 沼津商工会議所 | 5 件 | 131 件 | 磐田商工会議所 | 5 件 | 56 件 |
| 富士宮商工会議所 | 6 件 | 51 件 | 浜松商工会議所 | 43 件 | 68 件 |
| 富士商工会議所 | 28 件 | 52 件 | 静岡県商工会連合会 | 138 件 | 135 件 |
| 静岡商工会議所 | 39 件 | 167 件 | 静岡県中小企業団体中央会 | 84 件 | 85 件 |
| 焼津商工会議所 | 4 件 | 14 件 | | | |
| | | | 計 | 412 件 | 1,025 件 |

○経営革新計画事例集掲載企業（抜粋）

株式会社タイセン工業（土木建築サービス業）

【経営革新計画のテーマ】

補強材不使用で強度を確保できる法面工事システム構台開発及びレンタルサービスの展開

一般土木建築工事業者。昭和 63 年の設立以降、橋梁架設・法面足場等多くの現場作業で培った経験をもとに、平成 27 年に自社製品「PC システム構台」を開発した。

同製品は耐荷重性に優れ、熟練者でなくても簡易に施工が可能な造りとなっている。通常、法面構台を設置する場合には、補強材によって強度を増強する必要があるが、本製品は、補強材を使用せずに高い強度を保つことが可能であり、開発時

ＰＣシステム構台

| | |
|---|---|
| に複数の特許を取得した。<br>　現在、静岡県内外の施工業者へ製品のレンタルサービスを実施している。 | |

## ９　設備貸与事業

事業費　18,431,935 円

小規模企業者等・創業者を対象に、設備の割賦販売・リースにより、経営基盤の強化を目的とした事業を実施していたが、平成 26 年度末で小規模企業者等設備導入資金助成法が廃止され、新規の貸与を中止した。その後は、既貸与先のフォローと債権回収を行っている。

(1)正常債権

| | 令和２年度末残 | | 令和３年度末残 | |
|---|---|---|---|---|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 割賦 | 1 件 | 394 千円 | 0 件 | 0 千円 |
| リース | 0 件 | 0 千円 | 0 件 | 0 千円 |
| 計 | 1 件 | 394 千円 | 0 件 | 0 千円 |

(2)延納・滞納債権（未収額）

| | 令和２年度末残 | | 令和３年度末残 | |
|---|---|---|---|---|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 割賦 | 2 件 | 17,770 千円 | 2 件 | 17,158 千円 |
| リース | 0 件 | 0 千円 | 0 件 | 0 千円 |
| 計 | 2 件 | 17,770 千円 | 2 件 | 17,158 千円 |

※割賦は設備相当額、リースはリース料を記載

(3)損害賠償債権（契約解除案件）

| 項目 | | 令和２年度末不良債権残 | 令和３年度回収等 | | | | 令和３年度末不良債権残 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 発生 | 回収完済 | 一部回収 | 償却 | |
| 件数 | 割賦 | 2 件 | 0 件 | 0 件 | (1)件 | 0 件 | 2 件 |
| | リース | 1 件 | 0 件 | 0 件 | (0)件 | 0 件 | 1 件 |
| | 計 | 3 件 | 0 件 | 0 件 | (1)件 | 0 件 | 3 件 |
| 金額 | 割賦 | 15,489 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 2,400 千円 | 0 千円 | 13,089 千円 |
| | リース | 20,020 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 20,020 千円 |
| | 計 | 35,509 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 2,400 千円 | 0 千円 | 33,109 千円 |

(4)割賦未収金債権（契約解除案件）

| 項目 | 令和２年度末不良債権残 | 令和３年度回収等 | | | | 令和３年度末不良債権残 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 発生 | 回収完済 | 一部回収 | 償却 | |
| 件数 | 3 件 | 0 件 | 3 件 | 0 件 | 0 件 | 0 件 |
| 金額 | 224 千円 | 0 千円 | 224 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |

## １０　中小企業振興貸与事業

事業費　−158,760 円

設備貸与事業の補完として、中規模中小企業者等の経営基盤の強化を促進することを目的として実施していたが、平成 15 年度に新規の貸与を中止した。その後は、既貸与先のフォローと債権回収を行っている。

(1)損害賠償債権（契約解除案件）

| 項目 | 令和２年度末不良債権残 | 令和３年度回収等 | | | | 令和３年度末不良債権残 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 発生 | 回収完済 | 一部回収 | 償却 | |
| 件数 | 1 件 | 0 件 | 0 件 | (1)件 | 0 件 | 1 件 |
| 金額 | 2,039 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 840 千円 | 0 千円 | 1,199 千円 |

### １１　設備資金貸付事業

事業費 3,472,429 円

小規模企業者等・創業者を対象に、設備導入に要する資金の貸付により、経営基盤の強化を目的とした事業を実施していたが、平成 26 年度末で小規模企業者等設備導入資金助成法が廃止され、新規の貸与を中止した。その後は、既貸付先のフォローと債権回収を行った。

(1)正常債権（償還金）

| | 令和２年度末残 | | 令和３年度末残 | |
|---|---|---|---|---|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 資金貸付 | 19 件 | 33,246 千円 | 1 件 | 1,180 千円 |

(2)延納・滞納債権（未収額）

| | 令和２年度末残 | | 令和３年度末残 | |
|---|---|---|---|---|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 資金貸付 | 0 件 | 0 千円 | 0 件 | 0 千円 |

(3)損害賠償債権（契約解除案件）

| 項目 | 令和２年度末不良債権残 | 令和３年度回収等 | | | | 令和３年度末不良債権残 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 発生 | 回収完済 | 一部回収 | 損失補償 | |
| 件数 | 0 件 | 0 件 | 0 件 | 0 件 | 0 件 | 0 件 |
| 金額 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |

## 公３　科学技術研究開発支援

事業費 116,109千円（ 157,197千円）

県内企業等が行う新技術・新製品開発等への支援、企業の技術ニーズと大学等の研究シーズのマッチングや産学官交流促進等、県内産業の科学技術研究開発を支援する事業を行った。

○新技術・新製品開発等への支援
　・技術相談、マッチング支援、知的財産活用研究会活動支援、知財の外国出願支援
○地域資源の活用を始めとする新商品や新サービスの開発、販路開拓等への支援
　・助成金交付
○戦略的基盤技術高度化支援事業(経済産業省事業)の事業管理機関受託

### １　産学官技術交流促進事業

事業費 30,759,447 円

技術コーディネーター(3名)が、大学、静岡県工業技術研究所、金融機関等と連携し、企業の新技術･新製品開発に係る技術ニーズと大学等における研究シーズや大手企業の技術シーズのマッチングを図るとともに、企業からの技術相談にも広く対応した。また、事業プロデューサーを配置し、シーズ・ニーズの掘り起こしからマッチング、その先の事業化に向け、企業の技術やニーズを活かした製品・サービスを事業化の観点で高め、広く流通させるための支援

をした。

**（1）技術相談、マッチング支援等**

| 項目 | 実績 |
|---|---|
| 新成長産業分野の助成採択に対する支援 | 25 件 |
| 中小企業の技術課題等に対する相談対応 | 340 件 |
| コーディネーターのスキルアップ事業 | コーディネーター　1名<br>令和 3 年度「技術移転に係わる目利き人材育成プログラム」<br>研究推進マネジメントコース【アドバンス編】<br>・主催　国立研究開発法人科学技術振興機構<br>・開催日　令和 3 年 9 月 29 日（水）（A課程）及び令和 3 年 9 月 30 日（木）（B課程）<br>・会場　オンライン開催<br>・内容<br>A課程　知財戦略や契約交渉の実践と組織の研究力強化<br>B課程　リスクマネジメントの在り方と産学官連携を推進する組織作り<br>・講師　九州大学　小川隆、立命館大学　野口義文、大阪大学　正城敏博 他 |
| 知的財産活用研究会（大手企業知的財産マッチング事業） | ○目的<br>大学、研究機関、大手企業が保有する知的財産等の技術シーズの県内中小企業への利用促進と新事業の創出<br>○会員数　187 社（R4. 3. 31 現在） |
| | 大手企業知的財産マッチング<br>○大手企業等知的財産マッチング会（Knowhowsynch 合同会社・パナソニック㈱）<br>令和 3 年 9 月 6 日（月）～10 月 8 日（金）　オンライン開催<br>・期間内に随時、Knowhowsynch 合同会社との個別相談会を実施。パナソニックと契約を締結している Knowhowsynch 合同会社が製品化に向け、プロトタイプ制作を支援する点に特徴<br>・個別相談：３件　（内、継続案件１件） |
| | ○大手企業等知的財産マッチング（京都大学・TLO 京都）（静岡県発明協会と共催）<br>令和 3 年 11 月 15 日（木）産経会館３階特別会議室<br>・個別相談会　９件　（内、継続案件２件） |
| | ○大手企業等知的財産マッチング会（イノベーティブ・デザイン&テクノロジー株式会社）<br>令和 4 年 3 月 7 日（月）～3 月 25 日（金）　オンライン開催<br>・期間内に随時、個別相談会を実施<br>・個別相談：１件 |
| 事業プロデュース事業 | ○事業化事例：3 件<br>・株式会社山一 富士宮工場（富士宮市）<br>「高品質足踏み式アルコール除菌スタンドの事業化」<br>・株式会社中央パッケージング（静岡市）<br>「マスク用芳香シールの事業化」<br>・株式会社幸せの花が咲く（静岡市）<br>「除菌延命剤フラクリーン・プロの事業化」 |
| 大学連携による知的活用アイデアコンテスト | ○第６回学生知財活用ビジネスアイデアプレゼン大会「キックオフミーティング」開催<br>令和 3 年 7 月 7 日（水）　（オンライン開催）<br>・エントリーを希望する学生に向けた大会説明会<br>・13 チーム 59 名がエントリー<br><br>○第 6 回学生知財活用ビジネスアイデアプレゼン大会<br>「ブラッシュアップミーティング」開催<br>・10 月 5 日　中部地区（静岡県立大学、常葉大学）　7 チーム<br>会場　静清信用金庫<br>・10 月 6 日　西部地区（静岡文化芸術大学、静岡大学）6 チーム<br>会場　静清信用金庫及びアクトシティ浜松 |

| | |
|---|---|
| | ○第６回学生知財活用ビジネスアイデアプレゼン大会　開催<br>令和３年 11 月 19 日（金）静岡市清水文化会館「マリナート」小ホール<br><br>・１チーム８分間のプレゼンテーションにより審査<br>＜最優秀賞＞<br>常葉大学　外国語学部グローバルコミュニケーション学科「FlowerRoad」<br>＜優秀賞＞<br>静岡大学　　情報学部・行動情報学科　「オムライス」<br>静岡県立大学　　経営情報学部経営情報学科　「えだまめ」<br>＜審査員特別賞＞<br>静岡文化芸術大学　　文化政策学部 国際文化学科　「こさいん」<br>静岡県立大学　　経営情報学部・経営情報学科　「大島」 |

**（２）外国出願支援事業**

中小企業等の戦略的な外国出願を促進するため、基礎となる出願（特許、実用新案、意匠、商標）と同内容の外国出願にかかる経費の一部を補助した。

| 企業名 | | 種別 | 交付確定額（千円） |
|---|---|---|---|
| 1 | ㈱イルミネーション | 特許 | 893 千円 |
| 2 | サウンドデザインラボ(同) | 特許 | 998 千円 |
| 3 | ㈱ハイタック | 特許 | 912 千円 |
| 4 | ㈱浜名ワークス | 特許 | 943 千円 |
| 5 | ㈱ＹＡＭＡＤＡ | 特許 | 1,472 千円 |
| 6 | リーガエース㈱ | 特許 | 1,041 千円 |
| 合計 | | | 6,259 千円 |

**２　地域ビジネス応援事業**　　事業費　12,581,792 円

**（１）ＳＤＧｓ貢献企業支援事業**

中小企業者及び特定非営利活動法人が取り組むＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）達成に向け、地域資源の活用を始めとする新商品や新サービスの開発、販路開拓等を積極的に取り組む事業に対して、経費の一部を補助した。

＜補助実績＞

| 申請者 | 所在地 | 事業概要 | 確定額 |
|---|---|---|---|
| ㈱イーモア | 浜松市 | SDGs を実現する新たな防滑プラットフォームの事業化 | 2,000 千円 |
| 岸萬塗装㈱ | 焼津市 | 環境に優しい植物性溶液を使用した塗装工程における前処理の実用化と普及 | 2,000 千円 |
| ㈲舩越造園 | 浜松市 | 企業の SDGs 貢献を支援する「やさしい草とりサービス」 | 1,566 千円 |
| Exclothes㈱ | 静岡市 | 子どもたちの集団感染を防ぎ子育てしやすいまちづくりの促進 | 1,940 千円 |
| ㈱Otono | 静岡市 | 世界遺産三保松原の自然と伝統文化を守る、体験ツアーの構築 | 2,000 千円 |
| 合計 | | | 9,506 千円 |

（2）産業財団の事業を利用した県内中小企業者のステップアップ支援（販売戦略構築支援型）

| 申請者 | 所在地 | 事業概要 | 確定額 |
|---|---|---|---|
| グローバル・リンクス・テクノロジー㈱ | 浜松市 | 全自動実験動物飼育装置「RoboRack®」の販路開拓 | 145 千円 |
| ケーアイ工業㈱ | 富士市 | マジックルーフ販路開拓 | 258 千円 |
| ㈱ケーイーコーポレーション | 静岡市 | 農水産物の鮮度を長く保つ高鮮度冷蔵システムの販路開拓 | 500 千円 |
| 合計 | | | 903 千円 |

（3）静岡県女性経営者団体支援事業

静岡県内企業の女性経営者・女性管理者が活躍できる企業を支援する静岡県女性経営者団体「A・NE・GO」の活動を、同団体の事務局として支援した。

## 3　戦略的基盤技術高度化支援事業　　事業費 70,464,968 円

中小企業が大学や公設試験研究機関と共同で、ものづくり基盤技術の高度化に向けた研究や試作品開発等の取組みを国が支援する制度であり、財団は本事業の運営管理等の支援を実施した。（令和３年度は３件の支援を実施）

① 株式会社クメタ製作所（吉田町）

「大容積大気圧プラズマ技術を活用した低温食材殺菌機の開発」
（３年目/３年間）

＜これまでの成果＞

抹茶、ターメリック、甘草を開発した低温プラズマ殺菌機で処理したところ、色調、成分等に大きな変化はなく食材の変質を伴わないプラズマ低温殺菌技術の実現を確認できた。また、アルゴンなどの不活性ガスを適量加えることで処理の難しい芽胞菌の不活化が確認でき、1kg を 30 秒で殺菌する目標に目途が立った。さらに、プラズマ放電に必要な実質的電力は予備電離放電が 250 W、主放電が 450 W となり当初の目標とした合計 1 kW 以下であることが確認できた。

今年度で本事業は終了するため、事業化に向けて引き続き残された課題に取り組む。

② アドバンスコンポジット株式会社（富士市）

「エアコン用圧縮機の省エネと小型化を両立する高強度軽量スクロール翼のニアネット鋳造技術の開発」
（３年目/３年間）

＜これまでの成果＞

実物大のプリフォームをゲルキャスト法でニアネット成形し、高圧鋳造によるスクロール翼が正確に作成できることを示した。量産化に向けた高次高圧鋳造技術を確立するため、鋳造 CAE 技術を用いたシミュレーション技術によって最適化を行った。高圧鋳造では、ガス抜きを含む新しい鋳造方案のもと、溶湯の充填不良や引け巣の発生を抑制することを確認できた。アルミ基複合材料の構造的分析、組織的分析を実施し、最適な組成を求めた。ホウ酸アルミの複合化において相の変化でアルミナが生じることを突き止めアルミナ量の調整で、目標の 150GPa 以上のヤング率を達成することができた。

引き続き事業化に向けた開発を継続する意向を持っている。

③ 株式会社ゾディアック（浜松市）

「航空宇宙分野セラミックマトリックス複合材料（CMC）の３次元配向分析技術開発による検査技術の確立」
（３年目/３年間）

＜これまでの成果＞

CMC 部品の欠陥定義資料の分析を実施し、大変位のある部分の繊維束抽出機能の強化について課題抽出と解決法の検討を行い、配向異常のパターンの分析と定義・分類ができた。実用的な計測指示書の要求仕様を作成し、

ソフトウェア試作開発を行った結果、検査準備工程数の大幅削減に成功し、計測計画に要する時間を 1/10 以下にする事例を確認できた。CMC 部品納入先が要求する分析基準と判定値をエビデンスとして出力できる検査ソフトウェアを開発した。最終試作ソフトウェアとして統合化し、クラック・ボイド画像識別基準値を達成。

今後は航空機業界の動向を踏まえ他分野への展開も視野に事業化を進めていく。

## 公４　フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト

**事業費 175,602 千円（169,675 千円）**

県で策定したフーズ・ヘルスケアオープンイノベーションロジェクト第１次戦略計画に基づき、「超高齢社会を踏まえた健康寿命の延伸」と「経済の持続的発展を目指した新しいビジネスモデルの創出」に対応するため、食を中心とするヘルスケアを推進し、産業競争力を向上させることによって、健康増進社を実現し、異分野の融合によるイノベーションの創出を図った。

○食品関連支援事業の支援
○化粧品関連事業の支援
○ヘルスケア関連事業の支援

### １　ﾌｰｽﾞ・ﾍﾙｽｹｱｵｰﾌﾟﾝｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ推進事業　　事業費 87,856,765 円

参画市連携商談会やセミナーの開催、各種展示会等への出展及び事業化コーディネーター等によるビジネスマッチングを推進することにより、産学官連携による機能性食品の開発等を促進し、食品・化成品関連産業の振興と集積を図った。

#### （1）参画市連携商談会・セミナーの開催

参画市(静岡市・焼津市・藤枝市)と連携して、商談会とセミナーを実施した。

| 区分 | 開催日 | 開催地 | 参加数 | 内容 |
|---|---|---|---|---|
| 商談会 | R3.11.18 | 焼津市 | 44 社 | 食品バイヤーとの個別商談会 in 焼津 |
| | R4. 1.24 | 藤枝市 | 19 社 | 食品バイヤーとの個別商談会 in 藤枝 |
| | R4. 2.25 | 静岡市 | 40 社 | 食品バイヤーとの個別商談会 in 静岡 |
| | 計 | | 103 社 | |
| セミナー | R3.10.29 | 焼津市及びオンライン | 40 人 | 商談力向上セミナー<br>『展示会出展に向けての基礎情報整理法』 |
| | R4. 3. 4 | オンライン | 47 人 | オンライン活用販路開拓セミナー<br>『ネット通販を活用した販路開拓について』 |
| | 計 | | 87 人 | |

#### （2）各種展示会等への出展

プロジェクトの情報発信と食品･化成品関連企業の販路開拓のため､県内外の展示会への出展支援を実施した。

| | 展示会等名 | 開催期日 | 会場 | 出展支援企業 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | メイカングループ総合食品展示商談会 | 7/9(金) | アクトシティ浜松<br>(浜松市中区) | ①㈱STI サンヨー<br>②㈱フーズ・ユー |
| 2 | ビジネス EXPO<br>「第 35 回 北海道技術･ビジネス交流会」 | 11/11(木)～12(金) | アクセスサッポロ<br>(北海道札幌市) | 西光エンジニアリング㈱ |
| 3 | 第 11 回産業振興フェア in いわた | 11/12(金)～13(土) | アミューズ豊田<br>(磐田市) | ①おいしい産業㈱、②㈱ＳＴＩサンヨー、③㈱マルハン |
| 4 | 化粧品開発展 2022 東京 | 1/12(水)～14 日(金) | 東京ビッグサイト<br>(東京都江東区) | ①㈱シーク、②㈱白形傳四郎商店、③日研フード㈱、④ノブオ電子㈱、⑤㈱ビートセンシング、⑥増田紙工㈱、⑦㈱ミズ・バラエティー |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5 | ふじのくに総合食品開発展 | 2/1（火）～28（月） | Web | ①おいしい産業㈱、②山喜本舗㈲、③㈱JIN（Tunalabo）、④㈱七富乳業、⑤㈲カネナカ商店、⑥㈱アグリ浜名湖、⑦polipoli |

### （3）コーディネーター、アドバイザーによるビジネスマッチングの推進

専門性に特化したアドバイザーや食品・化成品・健康食分野に精通したコーディネーターにより、製品開発から販路開拓にわたる様々な相談に対応した。

| 商品開発 | 工程改善 | 販路促進 | 情報提供 | 機能性支援 | 助成金支援 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 247 件 | 3 件 | 973 件 | 1,461 件 | 448 件 | 144 件 | 532 社 | 3,808 件 |

＜サイエンス、販路開拓・拡大アドバイザー関連＞

| 分野 | 内容 |
|---|---|
| 機能性素材成分分析及び活用 | GABA、エルゴチオネイン、クエン酸　計 73 検体　→　DB 化 |
| 産官学民金、各種クラスターとの連携促進 | AOI、MaOI、ChaOI、静岡市海洋産業クラスター協議会等の支援施策の適切な審査への協力や連携した企業支援 |
| 成果品等販売支援 | 延べ 225 件　35 社 104 品目<br>水産加工品、お菓子、スイーツ、飲料ほか |

### （4）機能性表示制度支援プラットフォームの利用状況　（()はH27 年度から累計件数）

| 相談件数 | ヒト介入試験実施件数 | システマティックレビュー実施件数 |
|---|---|---|
| 448(1,423) | 1(12) | 6(35) |

### （5）化成品関連産業への支援

ア　化粧品等研究開発推進事業助成金

| 申請者 | 所在地 | 事業概要 | 助成額 |
|---|---|---|---|
| ㈱コーヨー化成 | 静岡市 | 静岡県産バラを活用した高保湿オールインワンジェルの開発 | 4,535 千円 |
| フェイスラボ㈱ | 袋井市 | 静岡県産茶実外果皮を利用した化粧品原料及び化粧品の開発 | 1,390 千円 |
| ㈱Princess Co. | 磐田市 | 青ミカンエキスを使ったシミ改善化粧品開発 | 660 千円 |
| 合　計 | | | 6,585 千円 |

＜これまでの成果＞

| 助成金名 | 助成件数(累計) | 調査対象 | 商品化件数 | 販売金額 |
|---|---|---|---|---|
| 化粧品等研究開発推進事業助成金 | R元～R3（8 社） | R元～R2 | 2 件 | 計 11,853 千円 |

イ　化粧品開発展 東京（第 12 回）（再掲）

| | |
|---|---|
| 開催場所 | 東京ビッグサイト<br>(東京都江東区有明 3-11-1) |
| 開催日 | 令和 4 年 1 月 12 日(水)～14 日(金) |
| 開催目的 | 化粧品・化粧品素材・機械メーカーの販路開拓 |
| 来場者数 | 23,267 人 |
| 参加企業 | 7 社（㈱シーク、㈱白形傳四郎商店、日研フード㈱、ノブオ電子㈱、㈱ビートセンシング、増田紙工㈱、㈱ミズ・バラエティー） |

ウ　しずおかコスメマルシェ in 新静岡セノバ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開催場所 | 新静岡セノバ(静岡市葵区追手町 1-1-1) | | |
| 開催日 | 令和 3 年 11 月 27(土)～28 日(日) | | |
| 開催目的 | 一般消費者に対する静岡県産の化粧品ＰＲと即売 | | |
| 参加企業 | 6 社（㈱GOLDBLUE、㈱旭紙工所、㈱シーク、㈱コーヨー化成、CITE、㈱メイルコーポレーション） | | |
| 来場者数 | 450 名 | 販売実績 | 477,740 円/6 社計 |

エ　コスメティックフォーラム静岡

| | |
|---|---|
| 開催場所 | ホテルグランヒルズ静岡(静岡市駿河区南町18-1) |
| 開催日 | 令和3年11月5日（金） |
| 開催目的 | 県内化粧品産業の更なる振興を図るため、専門家を招いて最新の化粧品産業の動向を紹介 |
| 講演内容 | ①『『化粧品産業ビジョン』のポイントと、with/after コロナの展開について』<br>②『光と化粧品～紫外線防御、美しく魅せる～』 |
| 参加者数 | 81名 |

オ　化粧品スキルアップセミナー

| | |
|---|---|
| 開催形式 | オンライン |
| 開催日 | 令和4年 1月21日(金) |
| 開催目的 | 化粧品産業に携わる方の人材育成 |
| 内容 | 化粧品の製品開発と表示・広告の留意点、化粧品に関する知的財産について、薬機法改正及び指導事例、フーズ・ヘルスケア オープンイノベーションセンターの取組 |
| 参加者数 | 109名 |

カ　化粧品海外市場調査

| | |
|---|---|
| 期間 | 令和3年9月～4年1月 |
| 内容 | 中国EC モール内に静岡県商品専用Web ページを掲載し、SNS においてインフルエンサーによるプロモーションを実施 |
| 参加企業 | ㈱旭紙工所、㈱プレジール |

キ　化粧品開発につながる基礎研究フォーラム

| | |
|---|---|
| 開催形式 | オンライン |
| 開催日 | 令和4年 3月24日(木) |
| 開催目的 | 化粧品研究開発プラットフォームの研究成果報告 |
| 内容 | 化粧品研究開発プラットフォーム研究成果発表<br>化粧品開発の最新の動向をふまえた未来への展望 |
| 参加者数 | 139名 |

## 2　高付加価値型食品等開発推進事業

事業費 9,435,564円

機能性食品などの高付加価値型食品等の事業化・製品化を目指す県内の食品関連企業等に対し、試作品開発・実証試験等への支援に取り組んだ。

### （1）食品等開発助成事業

| 申請者 | 所在地 | 事業概要 | 助成額 |
|---|---|---|---|
| 三島函南農業協同組合 | 三島市 | 機能性表示食品として届出が可能な GABA 高含有馬鈴薯（メークイン）の開発 | 500千円 |
| フジ日本精糖㈱ | 静岡市 | イヌリンを利用した化粧品の開発 | 2,000千円 |
| ㈱桃中軒 | 沼津市 | 真空包装・冷凍保管によるお弁当の破棄削減 | 914千円 |
| ㈱アイファーム | 浜松市 | 機能性表示食品として届出が可能なスルフォラファン高含有ブロッコリーの開発 | 1,036千円 |
| ㈱ヤマヘイミカコーポレーション | 沼津市 | 地域ブランドである箱根西麓野菜の未利用食材を活用したふりかけの製造 | 878千円 |
| HAMAKEN㈱ | 静岡市 | 種類が異なるチーズを分割成型できる自動チーズ成型機の開発 | 2,000千円 |
| 合　計 | | | 7,328千円 |

＜これまでの成果＞

| 助成金名 | 助成件数(累計) | 調査対象 | 商品化件数 | 販売金額 |
|---|---|---|---|---|
| 食品等開発助成金 | H23～R3（82社） | H29～R2 | 8件 | 計 22,882千円 |

（2）新事業創造研究会の開催

| 部会(開発ﾃｰﾏ) | 参加企業 | 製品名および成果事業名 | 助成額 |
|---|---|---|---|
| 小豆部会<br>(未利用食材の活用) | ㈲松永製餡所<br>ヤマキ㈱ | 生餡製造にフスマと小豆の煮汁を再利用した商品化 | 55,560 円 |
| 富士宮産ホエーの商品化と活用部会<br>(未利用食材の活用) | ㈱七富乳業<br>大津屋物産㈱<br>polipoli | 「富士山ホエー」及びホエーを活用した焼菓子「ホエーとフロマージュブランのチーズステック」 | 297,764 円 |
| 101 年目のたたみいわし部会<br>(未利用食材の活用) | ㈲カネナカ商店<br>ヤマキ㈱ | チョコラス　しらす&チョコレート　スイートチョコ、チョコラス　しらす&チョコレート　ホワイトチョコ | 300,000 円 |
| 静岡県オリーブ SDGs 部会<br>(未利用食材の活用) | ㈱アグリ浜名湖<br>遠州オリーブ<br>掛川オリーブ<br>山本勝重オリーブ農園 | オリーブ残渣亜臨界抽出エキス | 257,520 円 |
| 奇跡の復活醤油部会<br>(発酵食品の開発) | ㈱ハチマル<br>静岡県産醤油㈱ | 奇跡の復活醤油 | 196,720 円 |
| 合計 | | | 1,107,564 円 |

＜これまでの成果＞

| 助成金名 | 助成件数(累計) | 調査対象 | 商品化件数 | 販売金額 |
|---|---|---|---|---|
| 食品等開発研究会 | H23～R3 (66 件) | H29～R2 | 15 件 | 計 298,912 千円 |

## 3　産業人材育成事業

事業費 2,116,000 円

総合食品学講座を実施し、食品関連企業における製品開発の中核的人材育成に取り組んだ。

| 開催日 | 内容 | 会場 | 受講者数 |
|---|---|---|---|
| R3.7.15～10.21<br>全 12 日間 | A:食品の加工技術　(10 講座)<br>B：食品の安全・安心技術　(9 講座)<br>C：マーケティング・販売戦略(6 講座)<br>D：実習のビデオ講習、微生物検査技術実習　(5 講座)<br>計 30 テーマ | 静岡県立大学<br>静岡県工業技術研究所<br>静岡県産業経済会館 | 一括受講者　：24 名<br>個別受講者　：41 名<br>個人修了認定　：18 名<br>事業者修了認定：　4 社 |

本講座総合評価（一括受講生対象：回収人数 15 人）

| | | |
|---|---|---|
| 満足 | 5 人 | 33.3% |
| ほぼ満足 | 8 人 | 53.3% |

受講者の感想

・品質管理を担当しているため、それに付随したテーマは非常に参考になった。
・いろいろなテーマの講義を受けてとても勉強になった。
・コロナにより試作の実習ができなかったことが非常に残念だった。
・食品微生物に関する講義や実習は、自社にとって非常にタイムリーで勉強になった。
・食品だけでなく表示や包装に関わる講義もあり、より広く食品について考えることができた。
・子供が小さいく保育園等に迎えもあるため、リモート参加と対面参加を選べるようになれば参加しやすい。
・全体的に講義時間が十分に取られていたため、それぞれの講義の内容が濃く、興味深いものが多かった。

## 4　健康食イノベーション推進事業

事業費 66,783,408 円

（1）オープンイノベーション・プラットフォームの構築

産学官金の交流を通じたオープンイノベーションを促進するため、「健康食コーディネーター」を配置するとともに、県・県立大学と連携して取り組んだ「健康食イノベーション推進事業」について、これまで３年間の活動成果を発表した。

○健康・食イノベーションフォーラム

| | |
|---|---|
| 開　催　場　所 | ホテルグランヒルズ静岡（静岡市駿河区南町 18-1） |
| 開　　催　　日 | 令和４年 ２月 18 日(金) |
| 開　催　目　的 | 「健康食イノベーション推進事業」のこれまで３年間の活動成果報告 |
| 参　加　者　数 | 118 名 |

○健康博覧会

| | |
|---|---|
| 開　催　場　所 | 東京ビッグサイト(東京都江東区有明) |
| 開　　催　　日 | 令和４年 ２月 ８日(火)～10 日(木) |
| 出　展　目　的 | 「健康食イノベーション推進事業」のこれまで３年間の活動成果展示 |
| 展示内容 | 健康に配慮したメニュー・商品開発及び普及の取組　ほか |

## （2）研究開発・海外販路開拓支援

○機能性表示食品等研究開発推進事業助成金

| 申請者 | 所在地 | 事業概要 | 助成額 |
|---|---|---|---|
| 日研フード㈱ | 袋井市 | 静岡県産青みかんエキス PSW（関与成分未熟温州みかんエキス）として機能性表示食品原料としての確立および活用ドリンクの届出・製品化 | 6,396 千円 |
| フジ日本精糖㈱ | 静岡市 | イヌリンの睡眠の質向上効果と粘膜免疫との相関関係に関する臨床試験 | 10,000 千円 |
| 合　計 | | | 16,396 千円 |

＜これまでの成果＞

| 助成金名 | 助成件数(累計) | 調査対象 | 商品化件数 | 販売金額 |
|---|---|---|---|---|
| 機能性表示食品等研究開発推進事業助成金 | R2～R3（4 件） | R2 | 0 件 | 0 千円 |

○加工食品輸出スタートアップ支援事業助成金

| 申請者 | 所在地 | 事業概要 | 助成額 |
|---|---|---|---|
| 丸福製茶㈱ | 静岡市 | ninja-T 世界への旅立ち「はじめの一歩」 | 2,000 千円 |
| 岡部茶㈲ | 藤枝市 | 茶カテキンの機能性を活かした　「チョコヒーロー」の米国販路開拓プロジェクト | 1,290 千円 |
| 合　計 | | | 3,290 千円 |

＜これまでの成果＞

| 助成金名 | 助成件数(累計) | 調査対象 | 商品化件数 | 販売金額 |
|---|---|---|---|---|
| 加工食品輸出スタートアップ支援事業助成金 | R2～R3（4 件） | R2 | 1 件 | 0 千円 |

## （3）需要創造・販路開拓

○しずおか健康食イノベーションセミナー

| | |
|---|---|
| 開　催　場　所 | ホテルグランヒルズ静岡（静岡市駿河区南町 18-1） |
| 開　　催　　日 | 令和３年 10 月 28 日(木) |
| 開　催　目　的 | 食の原点である“おいしさ“を多方面から科学し、特性を知り工夫することで、日常の食をよりおいしく、より健康的なものに変え、食本来の楽しみを感じられる食品やメニューの開発等につなげる。 |
| 参　加　者　数 | 153 名 |

○健康に配慮したメニュー・商品開発及び普及の取組

| | | |
|---|---|---|
| 委　託　企　業 | (一社)日本医食促進協会（メディシェフ） | （社福）聖隷福祉事業団保健事業部 |
| 実　施　期　間 | 令和３年５月～12 月 | 令和３年７月～4 年２月 |
| 参加事業者数 | ８社 | ６社 |
| 参　加　企　業 | ロザート、㈱三島フレンチ(おんふらん | ㈱桃中軒、KICHI　TO　NARU　富士、㈱天 |

| | | |
|---|---|---|
| | す)、㈱なすび（GRILL　炙の介）、蒲原の味処　よし川、㈲油山苑、㈱Ripple（フィオレンティーナ）、㈲石松（石松餃子）、㈲魚魚一（魚料理専門　魚魚一） | 神屋、ホテルグランヒル静岡（日本料理花凛）、ホテル呉竹荘、KAReN HaMaNaKo かんざんじ荘 |

○食品開発展

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 開催場所 | 東京ビッグサイト（東京都江東区有明3-11-1） | | | | |
| 開　催　日 | 令和3年10月 6(水)～ 8日(金) | | | | |
| 開催目的 | アジア最大規模の機能性素材展示会に出展し、健康・機能性食材の販路開拓を支援 | | | | |
| 出展企業 | 来場者数 | 商談件数 | 成約件数 | 成約金額 | 出展効果（アンケート） |
| 6社 | 25,529名 | 49件 | 0件 | － 円 | 効率的な PR ができた。取引先が開拓ができた。 |
| 出展企業名 | ㈱アイファーム、フジ日本精糖㈱、日研フード㈱、ニチフリ食品㈱、丸七製茶㈱、㈱ヤギショー | | | | |

○通販食品展示商談会

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 開催場所 | 東京交通会館（東京都千代田区有楽町2-10-1） | | | | |
| 開　催　日 | 令和3年 9月30日(木)～10月 1日(金) | | | | |
| 開催目的 | 通販・宅配市場向け専門商談会に出展し、通販市場等の販路開拓を支援 | | | | |
| 出展企業 | 来場者数 | 商談件数 | 成約件数 | 成約金額 | 出展効果（アンケート） |
| 10社 | 1,700名 | 95件 | 20件 | － 円 | 「通販」と絞ったテーマで提案ができお客様の反応も上々であった。 |
| | | 半年後調査 | | | |
| 出展企業名 | ㈱Agrinos、㈱SHOUJI、㈱マルフク、㈱杉初水産、㈱東平商会、㈱本目浅吉商店、丸七製茶㈱、㈱ヤマヘイーミカコーポレーション、㈱LaLa カレージャパン、㈲渡辺水産 | | | | |

○首都圏テストマーケティング

| | |
|---|---|
| 実　施　場　所 | ニッコリーナエキュート東京店（東京駅構内） |
| 実　施　期　間 | 令和3年7月～4年2月 |
| 目　　的 | 東京駅構内の店舗でテスト販売し、販路開拓や商品のブラッシュアップを支援 |
| 参　加　社　数 | 22社（38品） |
| 参　加　企　業 | ㈲西尾商店、㈲山精水産、㈱マルハチ村松、㈲山智農園、やまと興業㈱、ヤマヤ醤油㈲、鳥居食品㈱、㈱マルフク、伊豆松崎レモングラス工房、㈱荒畑園、加戸米販㈱、ENSHU OLIVES、㈲カクゼン桑名屋、㈱増田採種場、㈱マルカイ、勝間田開拓茶農業協同組合、藤栄製茶㈱、㈱浅原、アオノフレッシュミート㈱、㈱シズオカミート、酪農王国㈱、㈱山本食品 |

○香港における食品テストマーケティング＆現地バイヤーとの商談会

| | |
|---|---|
| 実　施　場　所 | 香港 |
| 実　施　期　間 | 令和3年5月～4年2月 |
| 目　　的 | プロジェクト成果品や加工食品などの海外展開支援強化 |
| 参　加　社　数 | 12社（30品） |
| 内　　容 | マンションラウンジや商業施設に自動販売機を7か所8台設置して市場調査<br>現地バイヤー向け商品ＰＲ会及びWeb商談会の実施 |
| 参　加　企　業 | ㈲渡辺水産、㈱杉初水産、㈱ヤマヘイ-ミカコーポレーション、本山製茶㈱、丸福製茶㈱、㈱新丸正、TEA SEVEN 協同組合、カネイ一言製茶㈱、㈲まるととづか、はとむぎ家あつみんち、㈱田中商店、ヒノン農業㈱ |